

ご使用上のご注意

ツインバード工業株式会社は、この資料並びにコンテンツの著作権を有しています。
この資料並びにコンテンツは、著作権等の法律で保護されており、お客様はこの資料並びにコンテンツに関し下記の条件でのみ利用することが出来ます。

1. お客様は非営利目的に限り、ダウンロード、および使用することができます。
2. お客様がダウンロード、使用するときは、この著作権表示および使用条件と一緒に付す必要があります。
3. お客様はこの資料並びにコンテンツを改変したり、頒布、公衆送信、上映等に利用することはできません。

当社および当社の関係会社は、お客様に対してこの資料並びにコンテンツに関する著作権、特許権、商標権、意匠権およびその他の知的財産権をライセンスするものではありません。並びに資料およびコンテンツの内容についてもいかなる保証をするものでもありません。

またこの資料、並びにコンテンツ内に別の定めがある場合は、当該著作権の表示、使用条件を遵守する必要があります。

※このコンテンツはWeb上での使用を前提とし再編集を加えているため、必ずしも製品添付の取扱説明書と同一ではありません。特にページ順は編集上、入れ替えている場合があります。

※この資料並びにコンテンツの内容は、それぞれの商品の発売時点のものです。

※デザイン、仕様は商品改良のため予告なく変更する場合があります。

感動をデザインします

TWINBIRD

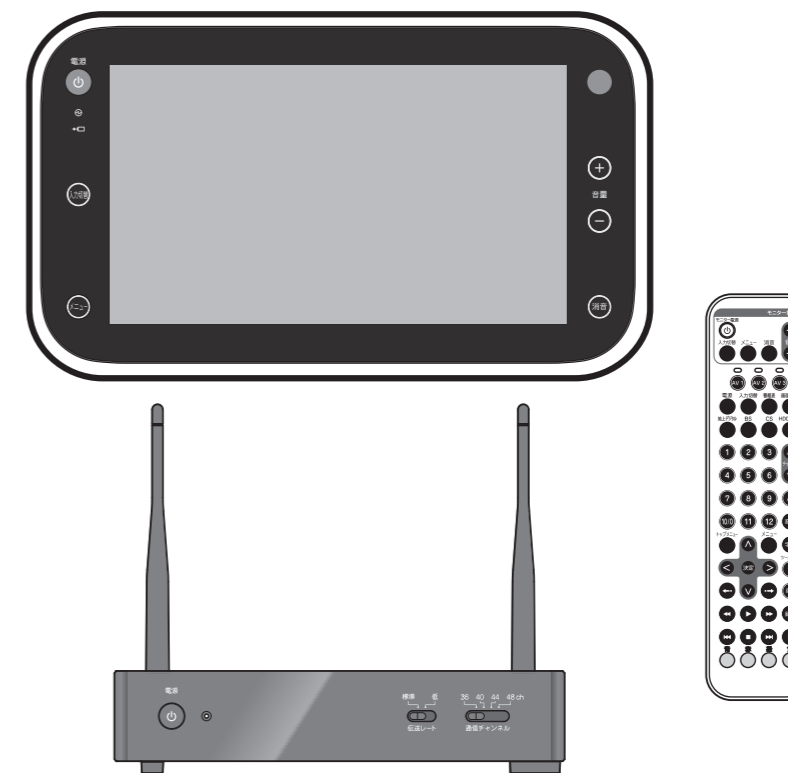
家庭用

屋内専用

防水ワイヤレスモニター

VW-J109

本体 取扱説明書



- このたびは、お買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
特に「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にご使用ください。
- この取扱説明書は必ず保管し、必要なときにお読みください。
- この製品は一般家庭用です。
業務用などにご使用にならないでください。
- 本製品に故障が発生したときは、販売店にご連絡ください。

RX1311A



本機を使用できるのは日本国内のみで、
国外では使用できません。
This unit is designed for use in
Japan only and can not be used
in any other country

保証書付

保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。
必ず記入をお受けください。

はじめに

接続・設定

使いかた

その他

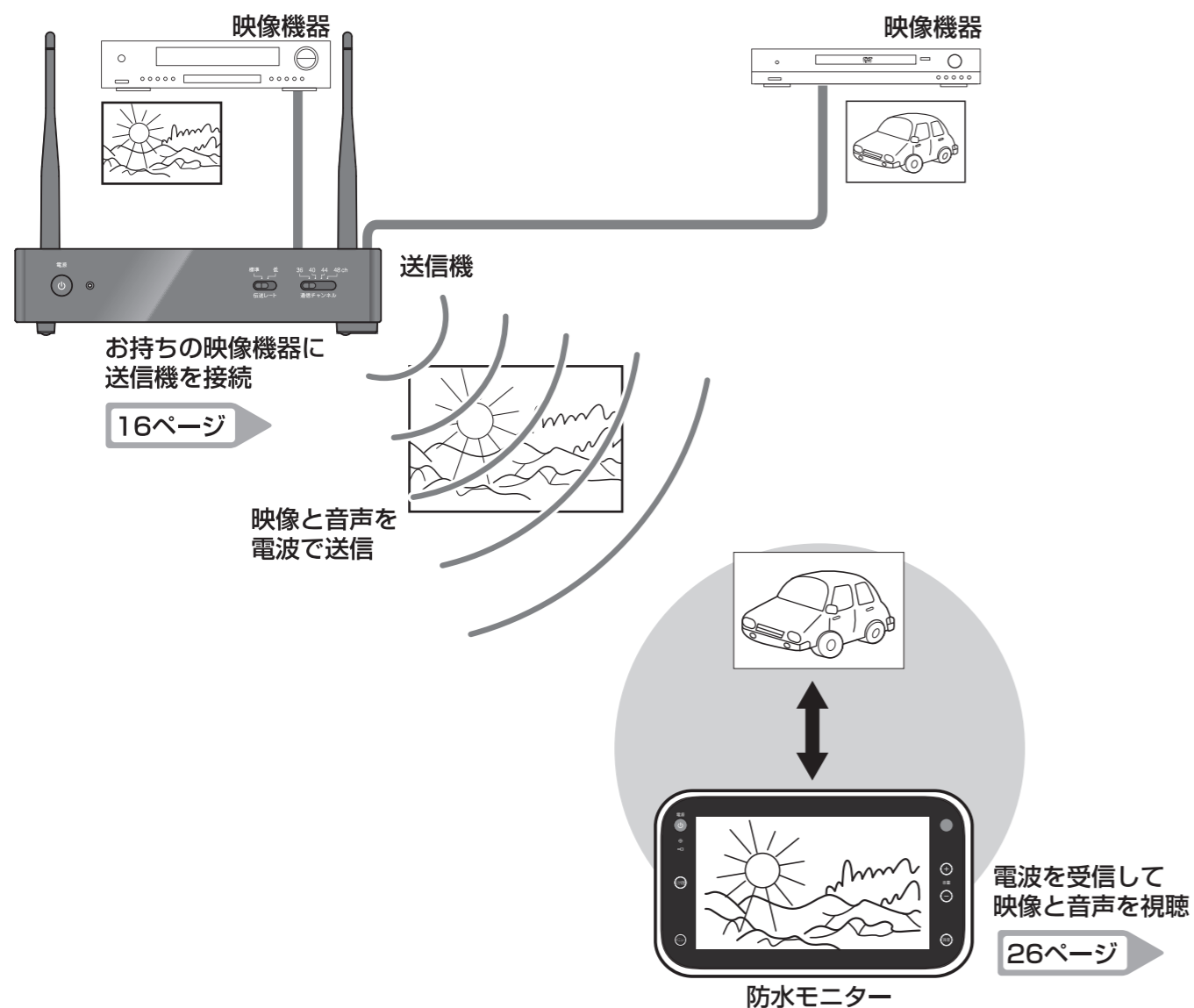
VW-J109

本製品の特長（本製品でできること）

お知らせ

送信機は、チューナーやプレーヤー等の機能はありません。
お持ちの出力端子があるDVDプレーヤー、ビデオデッキ、HDDレコーダー、ブルーレイディスクレコーダー、地デジ/BS/CSチューナー、ケーブルテレビ、セットトップボックスなどと接続して使用してください。
なお、本書ではこれらの機器を「映像機器」と記載します。

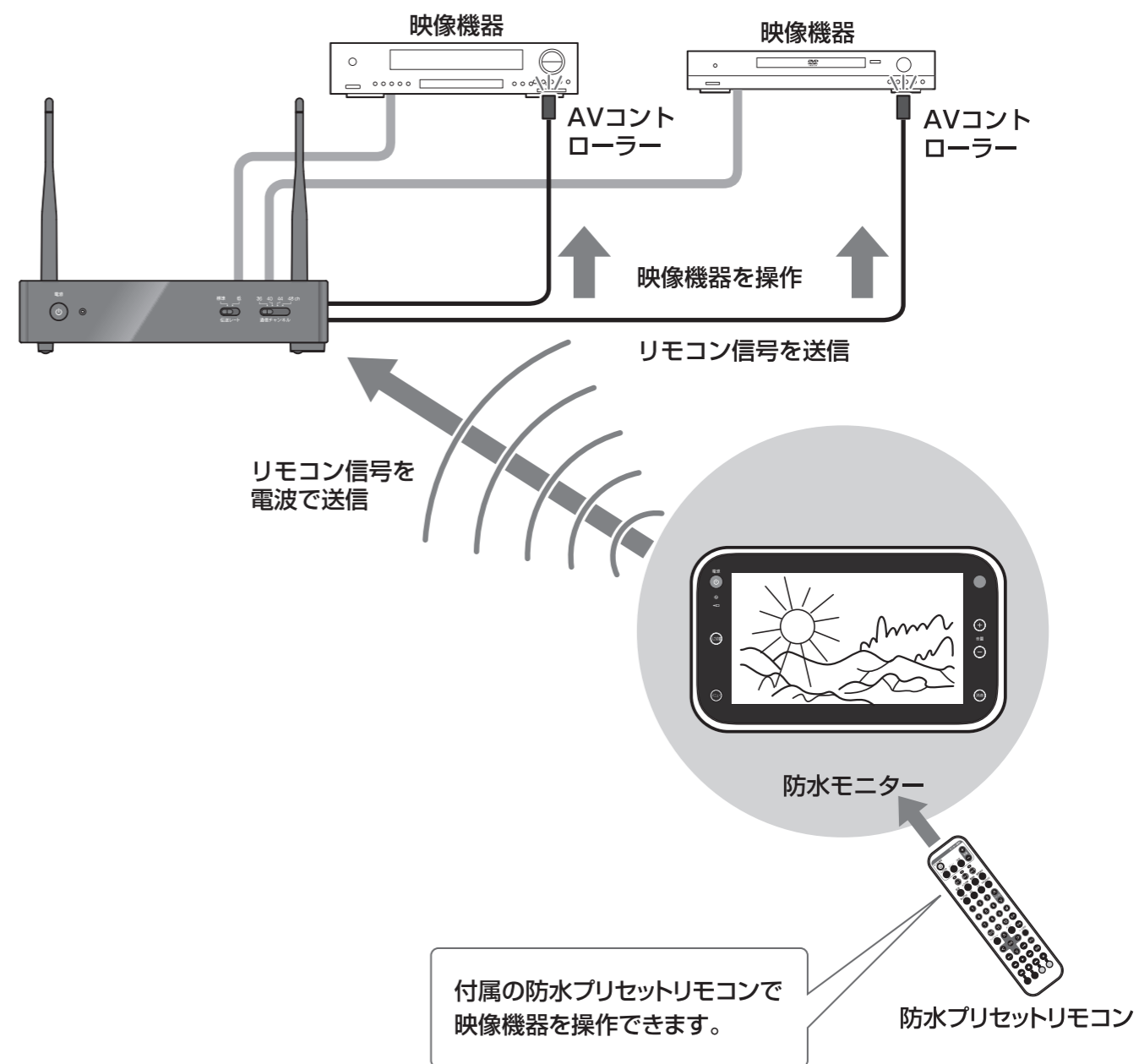
防水モニターを持ち運んで好きな場所で映像を視聴



- 送信機と防水モニターの通信可能距離は、ご使用の環境などにより変わります。送信機と防水モニターの設置場所によっては通信状態が悪くなる場合があります。
- 送信機には、最大で2台の映像機器を同時に接続することができます。
- 映像機器との接続のしかたについて16～19ページをご覧ください。

映像機器から離れた場所でリモコン操作

付属のAVコントローラーを使えば、映像機器から離れていても、防水モニターに向けて防水プリセットリモコンを操作するだけで映像機器を操作できます。

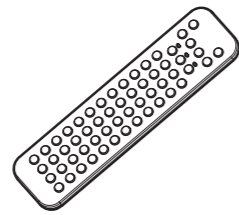


- AVコントローラーの接続のしかたについては20ページをご覧ください。
- 付属の防水プリセットリモコンには、主要な映像機器のリモコン信号があらかじめ内蔵されているので、簡単な操作で映像機器のリモコンの代わりに使用することができます。リモコン信号が内蔵されていない場合、あらたに信号を学習させることで映像機器のリモコンの代わりに使用することができます。詳しくは、「防水プリセットリモコン取扱説明書」（別冊）をご覧ください。

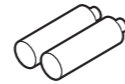
同梱物を確認しましょう



- ・防水モニター (防水構造 JIS IPX7 相当)
- ・バッテリーパック (防水モニターに内蔵)



- ・防水プリセットリモコン (防水構造 JIS IPX7 相当)



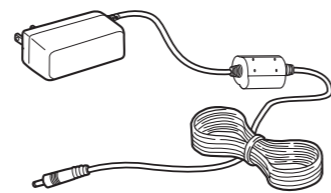
- ・リモコン用単4形マンガン乾電池 (お試し用) ×2



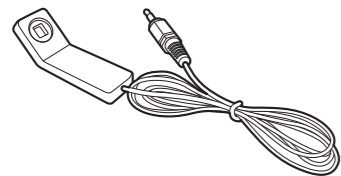
- ・送信機



- ・充電台



- ・ACアダプター×2 (VD-CH38型)



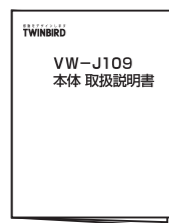
- ・AVコントローラー×2



- ・両面テープ×2



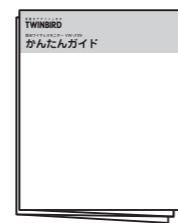
- ・HDMIケーブル



- ・本体取扱説明書 (保証書付) (本書)



- ・防水プリセットリモコン 取扱説明書



- ・かんたんガイド

防水モニターおよび防水リモコン以外の機器は、防水構造ではありません。水をかけたり、水につけたり、ぬれた手で触れないでください。

はじめに

安全上のご注意	●バッテリーパック (防水モニターに内蔵) について 1
	●防水プリセットリモコン用電池について 2
	●防水モニター・防水プリセットリモコンについて 3
	●送信機について 5
	●電源について 6
	●電波について 7
使用上のお願い	●映像について 8
	●結露について 8
	●故障ではありません 8
	●製品の取り扱いについて 8
	●HDMIケーブルの接続について 9
	●防水について (防水モニター、防水プリセットリモコン) 9
各部の名称	●防水モニター 10
	●送信機 11
	●充電台 11
設置場所について 12

接続・設定

防水プリセットリモコンの準備をする 14
映像機器を接続する	●接続の前に 16
	●接続のしかた 17
AVコントローラーを接続する 20
防水モニターを準備する	●防水モニターの電源について 21
正しく操作できるか確認する	●防水モニターに映像機の映像が映るか確認する 24
	●防水プリセットリモコンの操作を確認する 25

使いかた

使いかた	●基本的な使いかた 26
	●各種設定・操作のしかた 27
	●「エラー番号“1”電波を受信できません」と表示される場合 31
	●「エラー番号“2”適切な映像信号が入力されていません」と表示される場合 33
防水モニターと外部の機器を接続する	●ヘッドホンをつなぐ 35
	●中継機の使用について 36

その他


●バッテリーパックの交換とリサイクルについて 37
●こんなときは (困ったときにおよみください) 40
●お手入れ 44
●製品を廃棄するとき 44
●アフターサービス 44
●仕様 45


安全上のご注意 必ずお守りください

製品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容をよく理解してから本文をお読みにになり、記載事項をお守りください。

■ 表示の説明

 **危険** 「死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される」内容です。

 **警告** 「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。

 **注意** 「傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される」内容です。


■ 図記号の説明


    は、してはいけない「禁止」の内容です。


  は、必ず実行していただく「強制」の内容です。


バッテリーパック (防水モニターに内蔵) について


危険


 **禁止** 専用のバッテリーパック以外は使用しないでください。バッテリーパックは本製品以外に接続したり、使用したりしないでください。液漏れ、発熱、発火、破裂の原因になります。


 **禁止** バッテリーパックは本製品以外で充電しないでください。液漏れ、発熱、発火、破裂の原因になります。


 **禁止** 火の中に投入したり加熱しないでください。電解液が吹き出したり破裂する原因になります。

 **禁止** 端子部を針金などの金属で接続したり、金属製ネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。電極がショートすると破裂、発火の恐れがあります。


 **禁止** 取り出したバッテリーパックは充電しないでください。破裂、火災の原因になります。


 **禁止** バッテリーパックの分解や改造をしないでください。液漏れ、発熱、破裂の原因になります。


 **禁止** 電池が液漏れしたときは素手で液をさわらないでください。液が目に入ったときは、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流し、必要なときは医師に相談してください。

 **禁止** 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。液漏れ、発熱の原因になります。


警告


 **水ぬれ禁止** 取り出したバッテリーパックを水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。ショートや発熱により火災、感電の原因になります。

 **禁止** バッテリーパックを誤った方法で取付けしないでください。正しくしっかりと取付けてください。事故や故障・破裂・発火・けがの原因になります。

 **強制** バッテリーパックの交換、製品の廃棄時以外は、バッテリーパックを取り出さないでください。事故や故障、破裂・発火・けがの原因になります。


注意


 **禁止** 火のそばや直射日光にあたる場所など、高温の場所での使用、保管、放置をしないでください。

 **強制** 製品の廃棄時に取り出した使用済みバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店にお持ちになり、リサイクルへご協力ください。バッテリーパックに使用しているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。

防水プリセットリモコン用電池について


警告

 **水ぬれ禁止** 水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。ショートや発熱により火災・感電の原因になります。

 **強制** 下記のことを必ずお守りください。液漏れ、発熱、発火、故障などの恐れがあります。

- もし、液漏れしたときは、リモコン内の液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
- 火の中に入れてたり、ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 充電しない。(本製品に充電機能はありません。)
- 極性⊕⊖に注意し、指示通りに入れる。
- 使い切った電池や長い間(2週間以上)使用しないときは、電池を取り出す。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。
- 指定された電池を使用する。

注意














 **強制** 廃棄の際は、各市町村の指示(条例)にしたがって処理をしてください。

防水モニター・防水プリセットリモコンについて

 警告

 分解禁止	絶対に分解・修理・改造は行わないでください。 発火・感電・けがの原因になります。 修理は、お買い上げの販売店または、「お客様サービス係」にご相談ください。
 禁止	使用中は、防水モニターを布団でおおったり、包んだりしないでください。 熱がこもり、火災やケースの変形の原因になります。風通しの良い状態でご使用ください。
 禁止	電源を入れたまま長時間直接接触して使用しないでください。 本製品の温度が高い部分に長時間直接接触していると、低温やけどの原因になることがあります。
 禁止	火気の近くで使用しないでください。 火災・感電や故障の原因になります。
 プラグを抜く	内部に水が入った場合は、電源を切り、ACアダプターを抜き、バッテリーパックをはずしてください。 そのまま使用すると火災・感電の原因になります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。 お買い上げの販売店または「お客様サービス係」にご相談ください。
 プラグを抜く	煙がでたり、変なにおいや音がする場合は、すぐに電源を切り、ACアダプターを抜き、バッテリーパックをはずしてください。 そのまま使用すると火災・感電の原因になります。お買い上げの販売店または「お客様サービス係」にご相談ください。
 強制	浴室、台所などの水まわりでは、必ずバッテリーパックで使用してください。 ACアダプターは使用しないでください。感電や故障の原因になります。
 強制	長期間（2週間）使用しないときや、お手入れのときは、ACアダプターを抜いてください。 通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。
 強制	病院内や航空機内では、病院や航空会社の指示に従ってください。 本製品が出す電波により、病院や航空機内の計器に影響を与える恐れがあります。

 注意




 禁止	ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。 落ちたり、倒れたりしてけがや故障の原因になります。
 禁止	湿度の高い場所でジャックカバーの開閉は絶対に行わない。 ジャックカバーの開閉は十分に水をふき取ったあと、湿気がなく水がかからない場所で乾いた手で行ってください。 故障の原因になります。
 禁止	風呂場やシャワー室などの湿度の高い場所に長時間放置しないでください。 故障の原因になります。
 禁止	水中に沈めないでください。 本製品は防水構造ですが、故意に水につけたり、強い水しぶきなどを当てると故障の原因になります。
 禁止	自動車内や、直射日光が当たる場所などの温度が高くなる場所に放置しないでください。 防水モニターや部品に悪い影響を与え、変形や故障・火災の原因になります。
 禁止	調理台や加湿器などの油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。 火災・感電や故障の原因になります。
 禁止	防水モニター背面のスピーカーに磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。 ラジオ・テレビ・補聴器など（雑音の原因になります。） キャッシュカード・自動改札用定期券・カセットテープ・時計など （正しく機能しなくなることがあります。）
 禁止	ヘッドホンをお使いになるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与える原因になります。
 禁止	本製品をシンナー・ベンジン・スプレー式クリーナーでは拭かないでください。 防水モニターが変形・変色し、防水性能が損なわれ、故障・事故・火災・感電の原因になります。
 禁止	防水モニターの画面を強く押さないでください。 画面にムラが出たり、故障の原因になります。
 禁止	各スイッチは強く押さないでください。 故障の原因になります。
 禁止	上に物を置いたり掛けたりしないでください。 落下してけがをする恐れがあります。
 強制	移動する場合は、ACアダプターやヘッドホンの接続コードをはずしてください。 コードが傷ついて火災の原因になったり、転倒してけがの原因になることがあります。

送信機について

 警告

	絶対に分解・修理・改造は行わないでください。 発火・感電・けがの原因になります。 修理は、お買い上げの販売店または、「お客様サービス係」にご相談ください。
	風呂場やシャワー室など、水気や湿気の多い場所で使用や保管をしないでください。 発火・感電・故障の原因になります。
	水につけたり、水をかけたりしないでください。内部に水が入った場合は、電源を切り、ACアダプターを抜いてください。 発火・感電・故障の原因になります。
	送信機を布団でおおったり、包んだりしないでください。放熱口をふさがしないでください。 熱がこもり、火災やケースの変形の原因になります。風通しの良い状態でご使用ください。
	雷が鳴り出したら、送信機には絶対に触れないでください。 火災や感電の原因になります。
	送信機を次の場所で使用しないでください。 ● 病院内 ● 飛行機内 医療機器や飛行機の計器などの誤動作の原因になります。
	火気の近くで使用しないでください。 火災・感電や故障の原因になります。
	故障や異常のまま、通電しないでください。 送信機に異常がある場合は、必ずコンセントからACアダプターを抜いてください。 そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。
	煙がでたり、変なおいや音がする場合は、すぐに電源を切り、ACアダプターを抜いてください。 そのまま使用すると火災・感電の原因になります。 お買い上げの販売店または「お客様サービス係」にご相談ください。
	ペースメーカーなどの医療用機器の近くでは使用しないでください。 電波によりペースメーカー等の機器の動作に影響を与える恐れがあります。

 注意



	送信機を踏んだり、上に物を載せないでください。 故障・破損・けがの原因になります。
	長時間にわたり触れ続けしないでください。 送信機を一定時間使用すると、送信機が熱くなります。 長時間にわたり触れ続けると、低温やけどを起こす恐れがあります。
	直射日光が当たる場所などの温度が高くなる場所に放置しないでください。 変形や故障・火災の原因になります。

電源について

 警告

	ACアダプターのコードは束ねたままにしないでください。
	コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。 たこ足配線などで定格を超えると、発熱・火災の原因になります。
	使用中は、ACアダプターを布団でおおったり、包んだりしないでください。 熱がこもり、火災やケースの変形の原因になります。風通しの良い状態でご使用ください。
	電源コードを傷つけたり、破損させたりしないでください。 電源コードが破損したまま使用すると、火災・感電の原因になります。電源コードが破損した場合は、お買い上げ販売店または「お客様サービス係」にご相談ください。
	電源コードを加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重い物を載せたり、挟み込んだりしないでください。 電源コードが破損し、火災・感電・故障の原因になります。
	雷が鳴り出したら、ACアダプターには絶対に触れないでください。 感電の原因になります。
	熱器具に近づけないでください。 火災・感電・故障の原因になります。
	濡れた手でACアダプターを抜き差ししないでください。 感電の原因になります。
	使用しないときは、ACアダプターをコンセントから抜いてください。 通電状態で放置、保管すると絶縁劣化、漏電などにより、火災の原因になることがあります。
	ACアダプターのプラグがゆるくなっているかなど定期的に点検してください。 ゆるくなっていると火災・感電・故障の原因になります。
	電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください。 プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
	指定された付属の専用ACアダプターを使用してください。 専用ACアダプター以外を使用すると、火災や故障の原因になります。
	ACアダプターはコンセントにプラグの根本まで確実に差し込んでください。 火災・感電・故障の原因になります。

 注意

	人が通行する場所に配線しないでください。 足を引っ掛けると、けがの原因になります。
	専用ACアダプターは日本国内専用です。交流100Vでお使いください。 故障の原因になります。

電波について

⚠ 警告

本製品は、5GHz帯の電波を使用しており、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。従って、本製品を使用する上で無線局の免許は必要ありませんが、以下の注意をご確認ください。

- 本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- 本製品は、技術基準適合証明を受けた部品を内蔵していますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解／改造すること。
 - 本製品に表示してあるⓂに続く証明番号をはがす・消すこと。
- 屋外で5GHz帯の電波を使用することは電波法により禁じられています。
- 無線通信は、医療機器に影響を及ぼす恐れがあります。病院など使用が禁止される場所や医療機器の近くで使用しないでください。
- ペースメーカー等の医療機器を装着されている方は、本製品を十分に(22cm以上)離してご使用ください。

⚠ 注意

- 近くで、5GHz帯の電波を利用する機器を利用している場合、電波干渉を受けて映像や音声途切れたり、画面にブロック状のノイズが出ます。電波の干渉を受けないように、通信チャンネルの変更をしてください。
例：5GHz帯の無線LAN (IEEE802.11a/nなど)
- 次のような環境では、電波状態が悪くなったり、電波が届かなくなることで、映像や音声途切れたり、画面にブロック状のノイズが出る場合があります。
 - 電子レンジ等の磁場、静電気、不要輻射電波を発生する機器の近く。
 - 送信機と防水モニターの間または近くに、金属や石や土が使われている壁、ドア、間仕切り、大型の家具や電化製品、防火ガラス等がある場合。
 - 送信機と防水モニターの間に入ったり、間を人が横切ったりするとき。
- 送信機から防水モニターに届く電波には、まっすぐに届く電波の他に、建物内の様々なものによって反射されたいくつかの電波があります。この反射された電波によって、電波状態の良い場所と悪い場所ができます。そのような場合には、送信機または防水モニターを少し動かしたり、向きを変えたりすると、電波状態が良くなる場合があります。
- 本製品は電波を利用している関係上、第三者が故意に傍受する場合も考えられます。機密を要する重要な事柄や人命に関わることには使用しないでください。

使用上のお願い

映像について

- 本製品は、送信機に入力された映像・音声信号をデジタル圧縮処理をして送信し、防水モニターで伸張処理をして映像・音声を再生しています。このため、防水モニターの映像・音声は、送信機に入力された映像・音声と比べてわずかに遅れて再生されます。また、テレビチューナーを内蔵する映像機器を接続した場合はテレビ放送の時報がわずかに遅れますので、ご注意ください。
- 防水プリセットリモコンで映像機器を操作する場合、映像機器の動作時間に本製品の動作時間も加えられるため、リモコンで操作してから防水モニターの映像・音声が反応するまでに時間差が発生します。

結露について

次のような場合、製品に結露が発生することがあります。

- 製品が温まった状態で急に寒いところに移動したとき。
- 製品が冷えた状態で急に温かいところに移動したとき。

結露した状態で製品を使用すると、故障の原因になります。使用するところに2～3時間程度放置して、温度がなじみ結露がとれてからご使用ください。

故障ではありません

- 長時間お使いになっていると防水モニターや送信機が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- 防水モニターが送信機から受信する無線電波の状態によっては、映像が停止したり、音声途切れる場合がありますが、故障ではありません。
- 防水モニターの液晶パネルは、表示する色や明るさにより微小な斑点および、むらが見えることがあります。故障ではありません。
- 液晶画面上に常時点灯、または点灯していない画素が数点ある場合がありますが、故障ではありません。
- 液晶パネルの特性上長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面の残像(焼き付きのような症状)が発生する可能性があります。この場合、別の画面に変えるか、数時間電源を切っておくことで徐々に改善されます。

製品の取り扱いについて

- 液晶画面を長時間見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。液晶画面を見続けて不快感や痛みを感じたときは、すぐに本製品の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは、医師の診察を受けてください。
- はじめから音量を上げすぎないようにご注意ください。突然大きな音が出て耳をいためることがあります。音量は徐々に上げてください。

HDMIケーブルの接続について

- ケーブルを差し込むときは、端子とコネクターの形や向きに注意してください。
- ケーブルを抜き差しするときは、コネクターをまっすぐに持って、ねじ曲げたり、端子に強く押し込んだりしないでください。

防水について (防水モニター、防水プリセットリモコン)

防水モニターと防水プリセットリモコンはJIS IPX7※相当の防水が施されており、風呂場やシャワー室などの水しぶきがかかる場所でもご使用いただけます。以下の点に十分注意してご使用ください。

*IPX7…定められた条件(1m、30分)で常温の水道水中に没しても内部に水が入らないもの。

- 水中用ではありませんので、水やお湯の中で使用することはできません。誤って水中に落とした場合はすぐに拾い上げてください。
- 特に石けん、洗剤、入浴剤の入った水やお湯に入れると、防水性能に影響を与える恐れがありますのでご注意ください。
- 多量の水や強い水しぶきをかけないでください。
- 浴室、台所などの水まわりではジャックカバー、リモコンの電池カバーを開けないでください。ジャックカバー、リモコンの電池カバーが開いた状態では防水になりません。確実に閉まっていることを確認してお使いください。
- ジャックカバーやリモコンの電池カバーの開閉は、水のかかる恐れのない場所に運んでから十分に水気をふき取り、乾いた手で行ってください。
- 使用後は、風呂場やシャワー室などの湿度の高い場所に放置せず、やわらかい布で水気をふき取ってください。
- ジャックカバー、リモコンの電池カバーまわりのゴムパッキンは、防水性能を維持するための重要な部品です。汚れや傷がつかないように注意してください。
- ゴムパッキンに毛髪やゴミなどが付着したときは水がかかるとの恐れのない場所で、やわらかい布でふき取ってください。

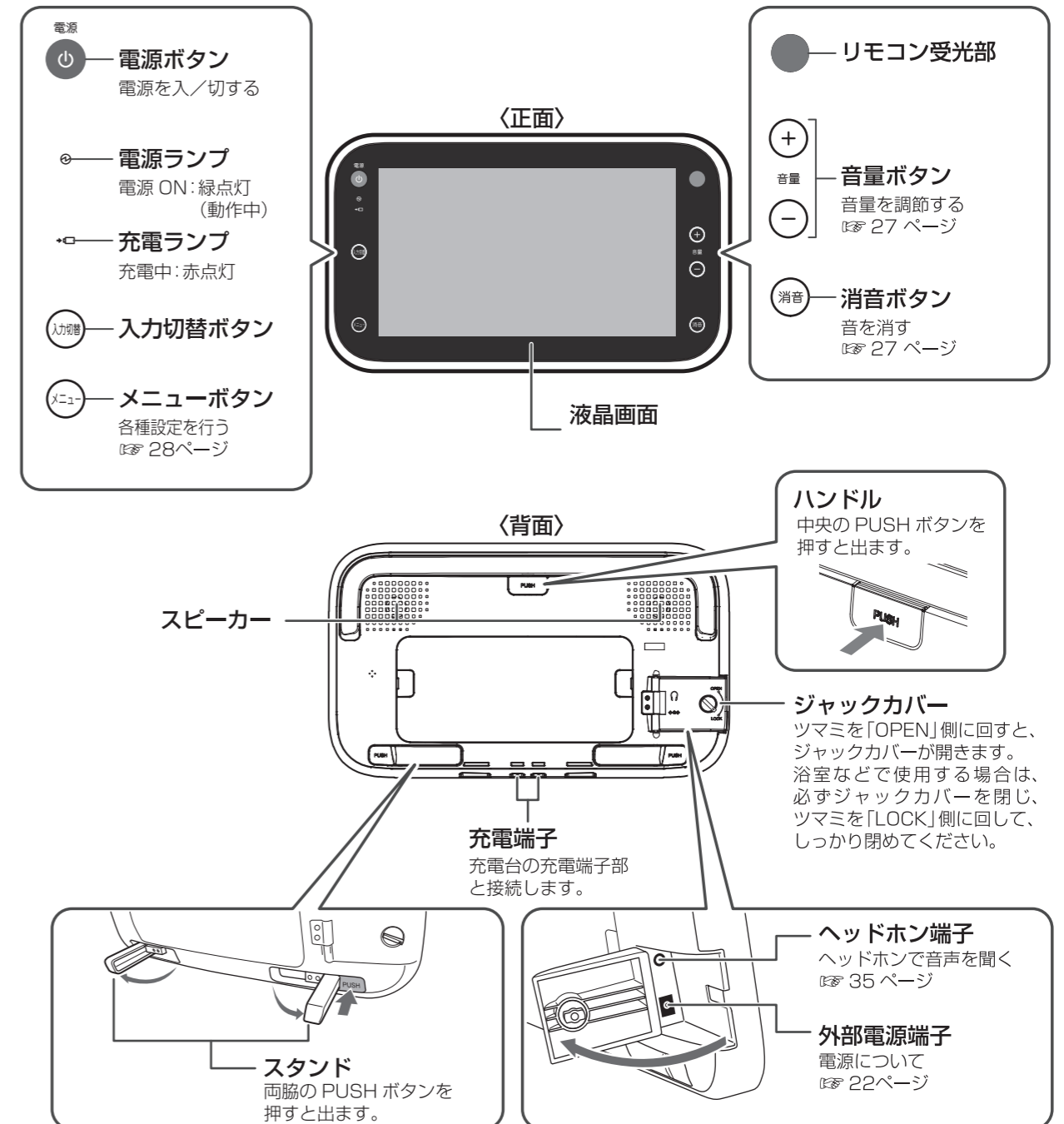
△注意

水中で使用したり、浴室、台所などの水まわりでジャックカバー、リモコンの電池カバーが開いた状態で使用すると、内部に水が侵入する恐れがあります。水の侵入による製品の故障については、保証期間内でも無料修理の対象外となりますのでご注意ください。

各部の名称

防水モニター

(防水構造 JIS IPX7相当 →9ページ)

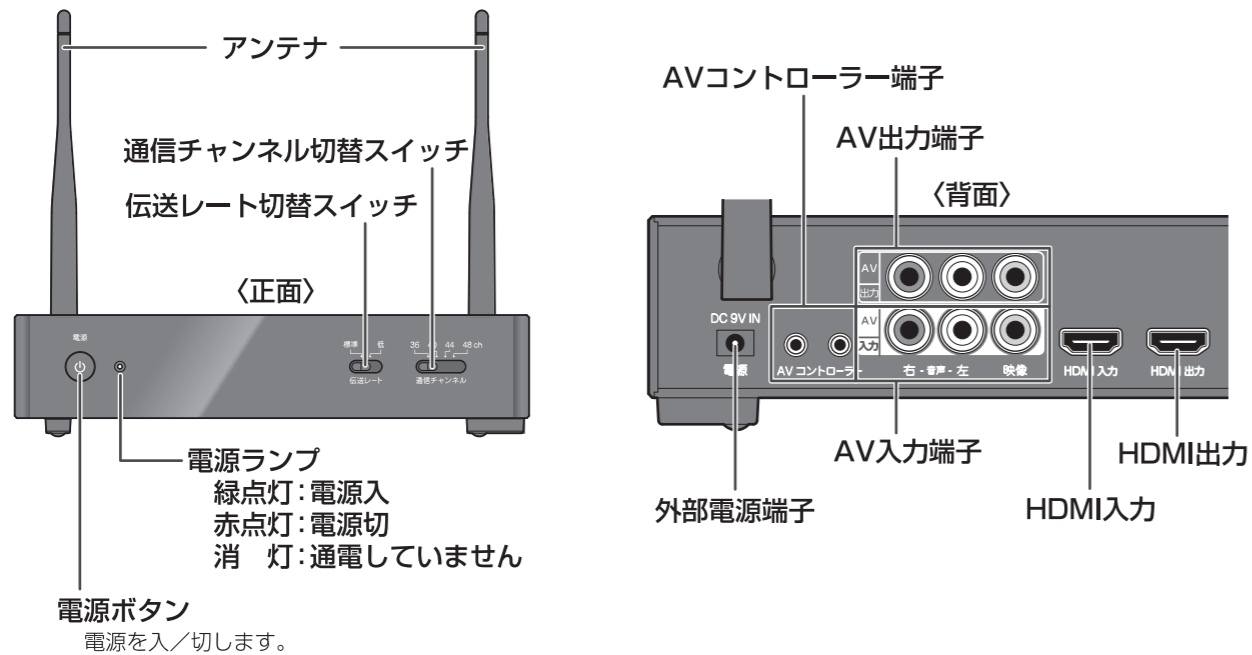


タッチセンサー式スイッチについて

防水モニターの操作部は、タッチセンサー式スイッチです(電源ボタン以外)。

- 指の腹で真ん中をしっかりとタッチしてください。爪の先でタッチすると反応しない場合があります。
- シャワーや多量の水しぶきがかかると、誤反応する場合があります。
- タッチセンサー式スイッチ部や指が濡れていると、反応が悪くなる場合があります。

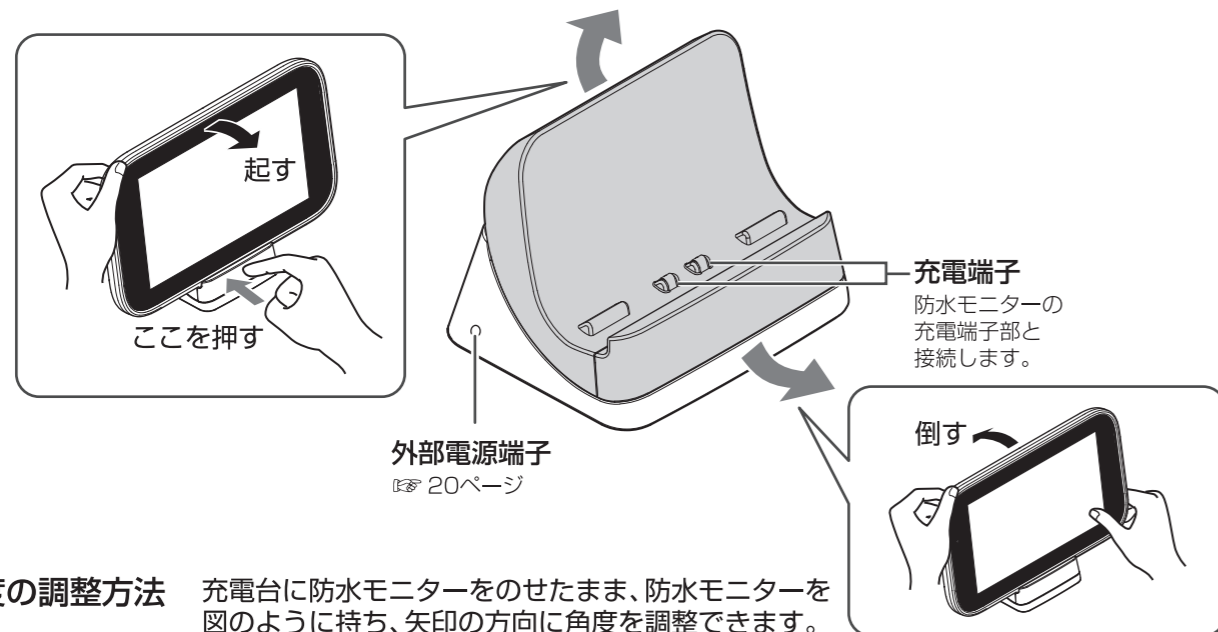
送信機



充電台



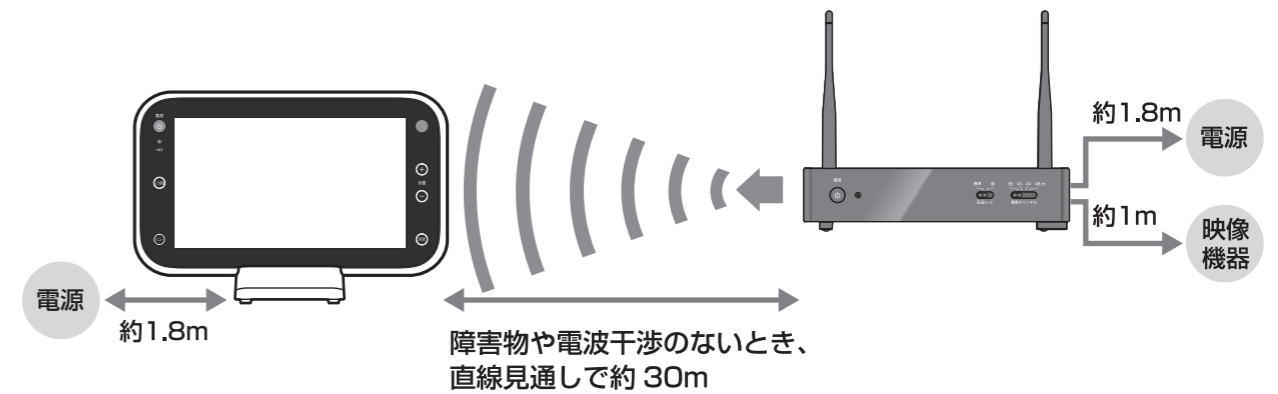
防水構造ではありません。
水をかけたり、水につけたり、濡れた手で触れないでください。



角度の調整方法 充電台に防水モニターをのせたまま、防水モニターを
図のように持ち、矢印の方向に角度を調整できます。

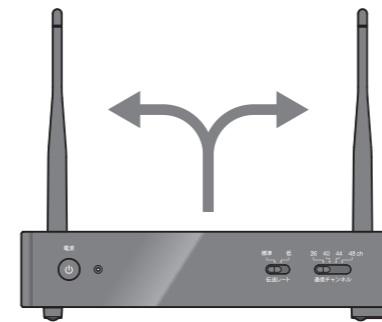
設置場所について

防水モニターは、送信機を用いて映像機器からの映像と音声を受信します。
下図は、各機器とケーブルの長さの目安を表しています。



送信機のアンテナについて

送信機のアンテナは接続した映像機器の映像と音声を電波で送信します。
使用時はアンテナを垂直に立ててください。



次のようなケースでは、電波が届きにくい場合があります

防水モニターと送信機の間には以下のものがあると、電波が届きにくくなり、映像や音声が届かなくなったり、受信できなくなったりすることがあります。

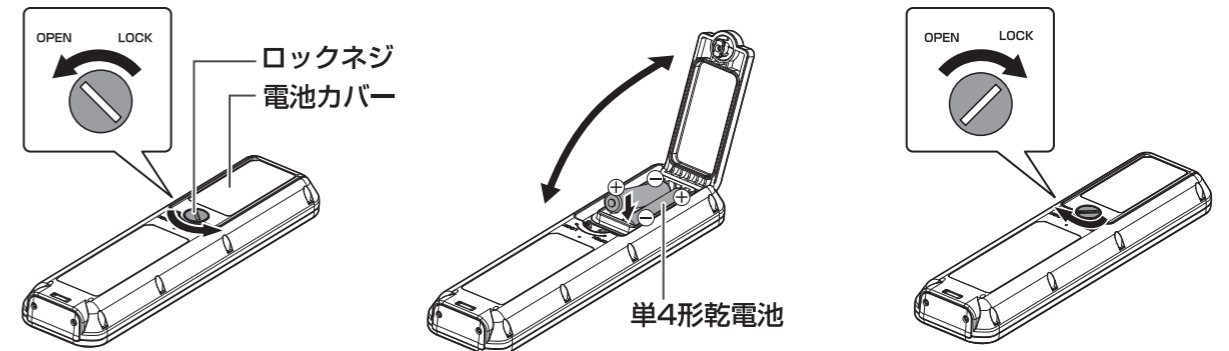
鉄筋・鉄骨を使用したたてものや構造物、コンクリートやトタン製の壁、金属製の壁・扉・家具、金属箔のついた断熱材、水、人など。

<p>壁越しに使用する場合</p>	<p>金属を含む家具の中に設置する場合</p>
<p>水まわりで使用する場合</p>	<p>床暖房をはさんで使用する場合</p>
<p>瓦や屋根越しに使用する場合</p>	<p>近くで5GHz帯の無線LAN機器を使用している場合</p>

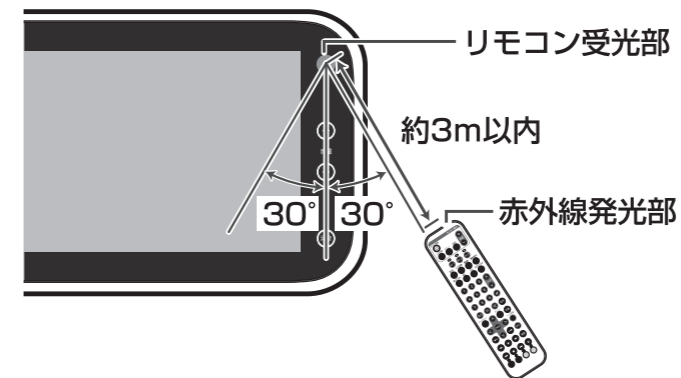
防水プリセットリモコンの準備をする

1 電池を入れてください

- ① 電池カバーのロックネジをコインなどで「OPEN」側に回し、電池カバーを開けます。
- ② 電池を正しい方向にセットします。
- ③ 電池カバーを閉じて、ロックネジを「LOCK」側に回します。



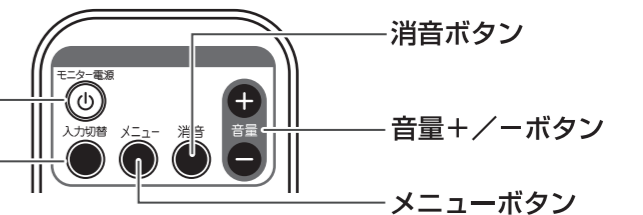
リモコンの使える範囲



ボタンの機能

防水プリセットリモコンの「モニター操作」枠内のボタンは、防水モニター正面ボタンとほぼ同じはたらきをします。

モニター電源ボタン
入力切替ボタン



⚠ 注意

- 防水モニターのリモコン受光部と防水プリセットリモコンの間に障害物があると操作できないことがあります。
- リモコンの電池が消耗すると、リモコンを操作しても動作しなくなります。そのようなときは新しい電池に交換してください。
- 防水モニターのリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たると、正常に動作しないことがあります。

2 リモコン信号を登録してください

防水プリセットリモコンに映像機器のリモコン信号を登録します。
詳しくは、防水プリセットリモコン取扱説明書(別冊)と、かんたんガイド(別紙)をご覧ください。

3 映像機器を操作できるか確認してください

防水プリセットリモコンを映像機器に向けてボタンを押して、映像機器が正しく操作できるか確認します。

△注意

防水プリセットリモコンに、映像機器のリモコン信号を登録していないと映像機器を操作することはできません。
リモコン信号の登録、映像機器の操作は、「防水プリセットリモコン取扱説明書」(別冊)をご覧ください。

映像機器と接続する






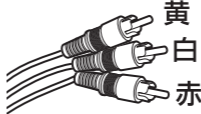

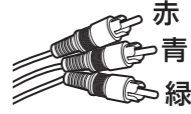


接続の前に

- 出力端子のない映像機器と本製品を接続することはできません。
- 接続するときは、映像機器の取扱説明書も併せてご覧ください。
- 本製品を映像機器と接続するときは、本製品および映像機器の電源を必ず「切」状態にしてから接続してください。
- 接続する映像機器の使用法や接続のしかたは、それぞれの機器の取扱説明書に従ってください。
- 映像出力のないオーディオ機器(CDプレーヤーなど)を接続して音声のみを防水モニターから出力することはできません。
必ず映像機器と接続して、映像信号を入力してください。
- 接続用のHDMIケーブル1本を付属しておりますが、足りない場合は市販のものをお買い求めください。
※AVケーブルは付属しておりません。

接続する端子とケーブルについて

HDMIケーブル、またはAVケーブルで接続します。

各映像端子の画質

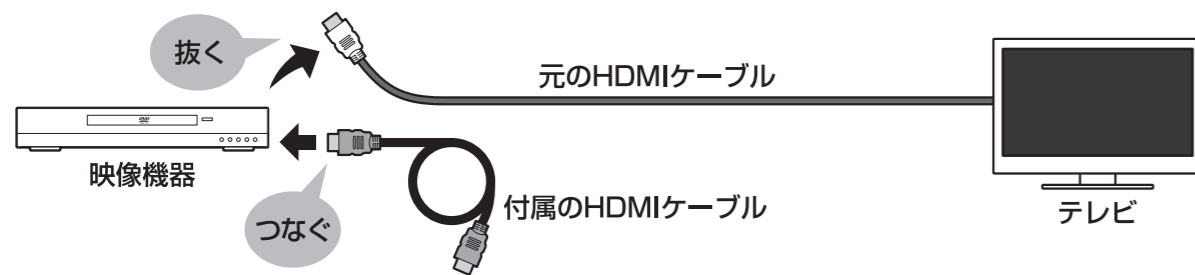
標準画質 ←		→ 高画質		
 AV端子(黄)	 S映像端子 (本製品にはありません)	 緑 青 赤 コンポーネントビデオ端子(本製品にはありません)	 D端子(本製品にはありません)	 HDMI端子
 AVケーブル (別売)	 S映像ケーブル (本製品には接続できません)	 赤 青 緑 コンポーネントビデオケーブル (本製品には接続できません)	 D端子ケーブル (本製品には接続できません)	 HDMIケーブル (付属)

接続のしかた

今つながっている映像機器 (HDDレコーダーなど) とテレビの間に、本製品の送信機を接続します。

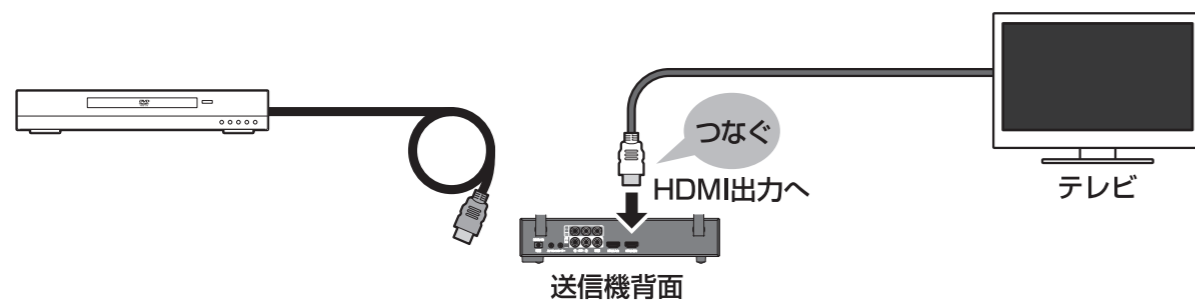
1 HDMIケーブルで映像機器を接続してください

- ① 映像機器からHDMIケーブルを抜き、空いた端子に付属のHDMIケーブルをつないでください。

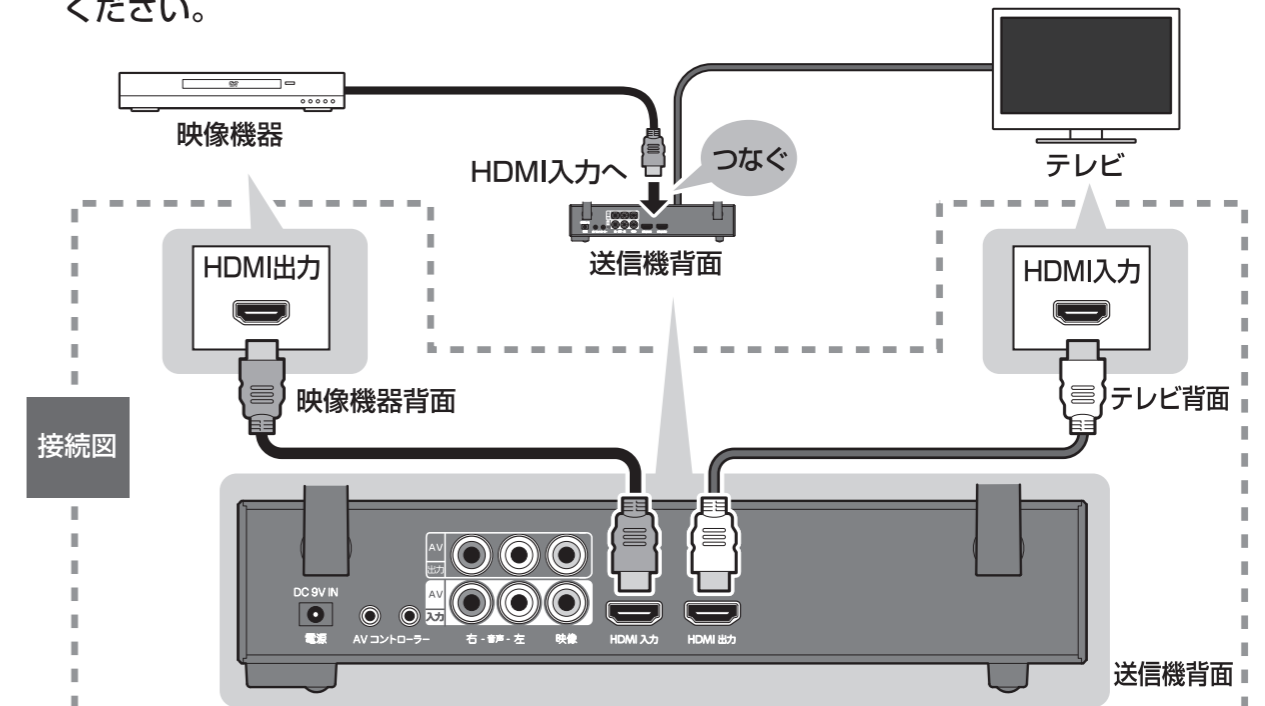


- 映像機器とテレビの間にスピーカーなどを接続している場合は、必ず映像機器とスピーカーの間に送信機を接続してください。

- ② テレビなどにつながっているHDMIケーブルを、送信機のHDMI出力端子につないでください。



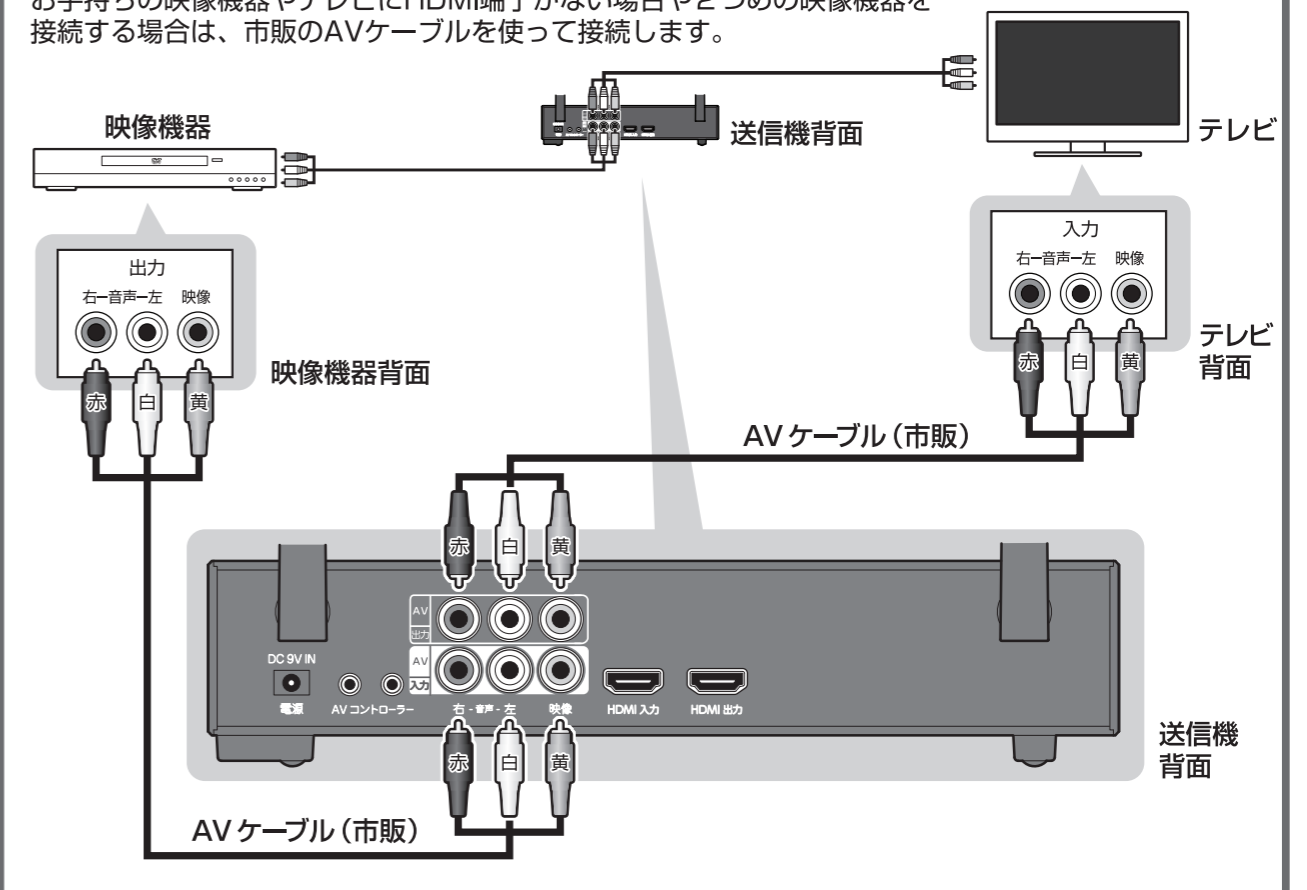
- ③ 映像機器につながっているHDMIケーブルを、送信機のHDMI入力端子につないでください。



- テレビ放送が見たい場合は、テレビチューナーを内蔵する映像機器を接続してください。

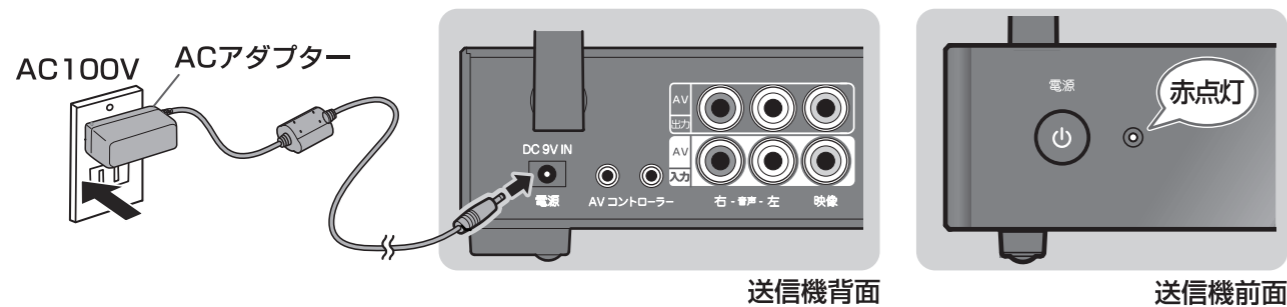
お手持ちの映像機器にHDMI端子がないとき

お手持ちの映像機器やテレビにHDMI端子がない場合や2つめの映像機器を接続する場合は、市販のAVケーブルを使って接続します。



2 ACアダプターを接続してください

付属のACアダプターを送信機とコンセントに接続し、送信機の電源ランプが赤く点灯することを確認してください。



3 映像機器の映像がテレビに表示されるか確認してください

映像機器とテレビの電源を入れます。映像が表示されなかったり、音声が聞こえない場合は、正しく接続されているか確認してください。



- 送信機のHDMI出力端子・AV出力端子をお使いになっている場合、ACアダプターを送信機とコンセントから抜かないでください。送信機にACアダプターが接続され、送信機の電源が「切」状態（電源ランプが赤点灯）のときは、映像機器とテレビなどが直接接続されている状態と同様に使用することができます。

お知らせ

映像機器と送信機、テレビをHDMIケーブルで接続している場合、送信機の電源が「入」状態（電源ランプが緑点灯）のときは、映像機器のHDMI出力の映像解像度は最大720p、音声フォーマットは最高音質がリニアPCM(2ch)となります。

そのため、送信機の電源が「入」状態（電源ランプが緑点灯）のときは、次のような場合があります。

- ・テレビに映像機器の映像が表示されない。
- ・テレビにフルHD（映像解像度1080i以上）で表示できない。
- ・テレビに映像機器の音声が出力されない。

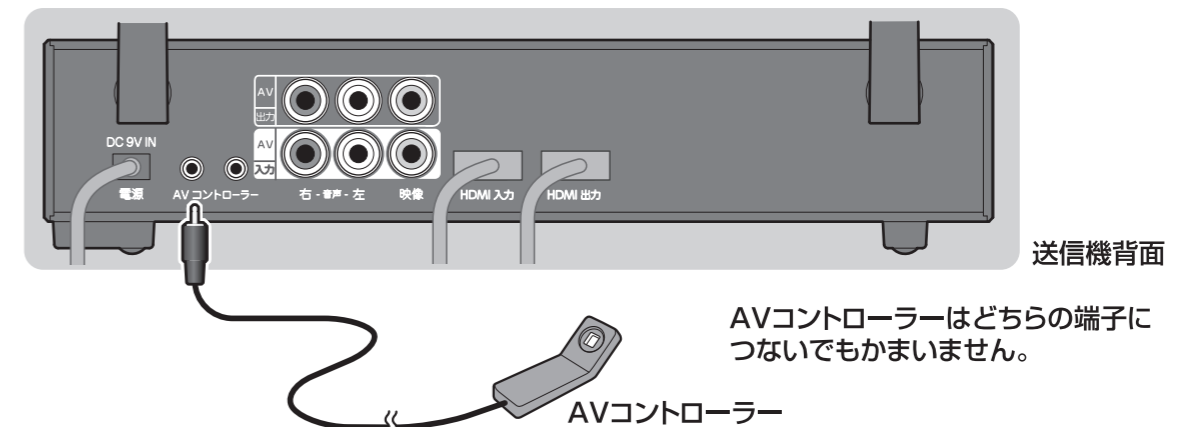
このような場合、送信機の電源を「切」状態（電源ランプが赤点灯）にすると改善することがあります。（テレビや映像機器の取扱説明書も併せてご覧ください。）

AVコントローラーを接続する

AVコントローラーを接続すると、送信機に接続した映像機器を、防水モニター側から防水プリセットリモコンで操作できるようになります。

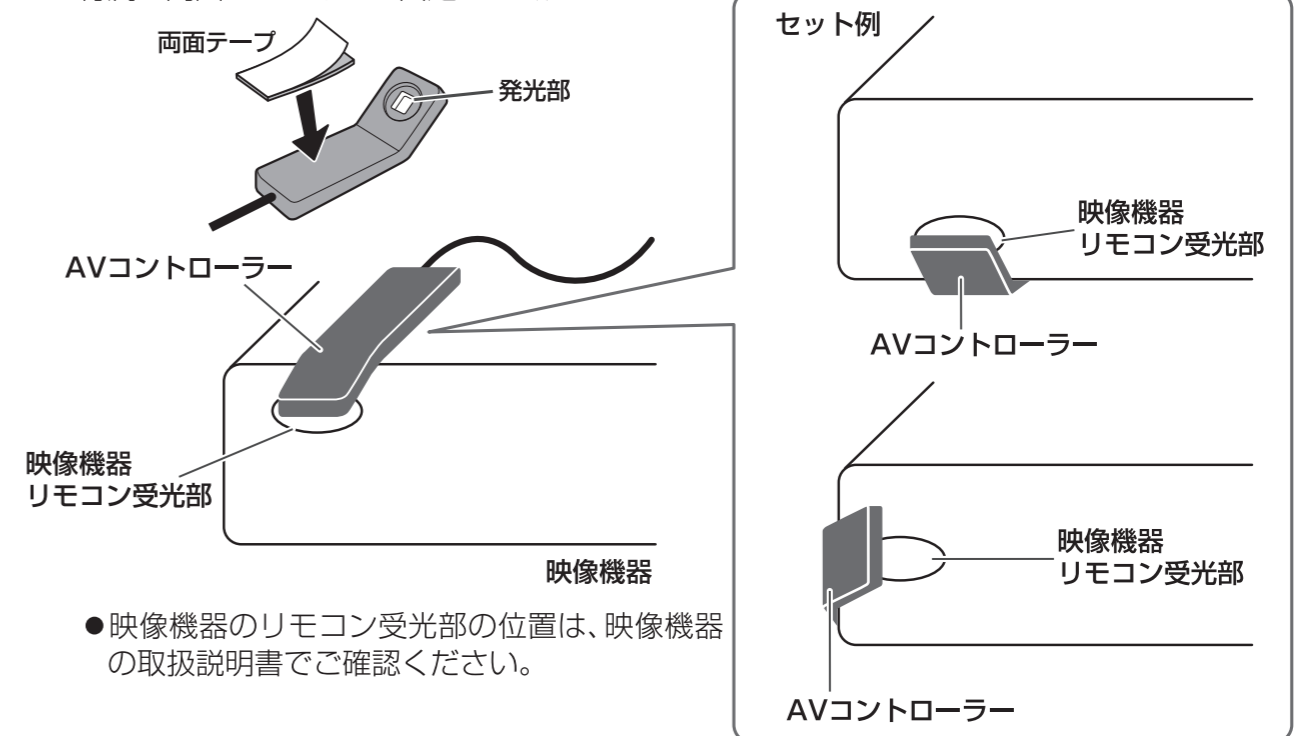
AVコントローラーは2本まで送信機に接続することができます。

1 AVコントローラーを送信機に接続してください

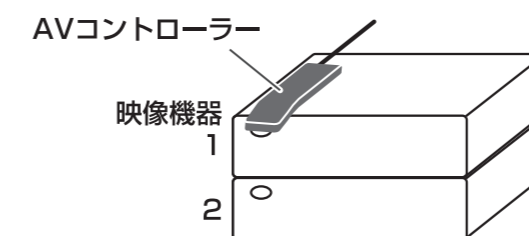


2 AVコントローラーを固定してください

AVコントローラーの発光部が映像機器のリモコン受光部と向き合うように、付属の両面テープなどで固定してください。



- 映像機器のリモコン受光部の位置は、映像機器の取扱説明書でご確認ください。



- AVコントローラーの赤外線信号は30cm程度の範囲に届きます。その範囲内で複数の映像機器のリモコン受光部がある場合は、1つのAVコントローラーでリモコン操作ができる場合があります。（例：映像機器を重ねて置いている場合など）

防水モニターを準備する

防水モニターの電源について

- 内蔵バッテリーパック
- 家庭用コンセント(付属のACアダプター使用)

充電台を使用する

1 付属のACアダプターのDCプラグを充電台の外部電源端子に差し込む。

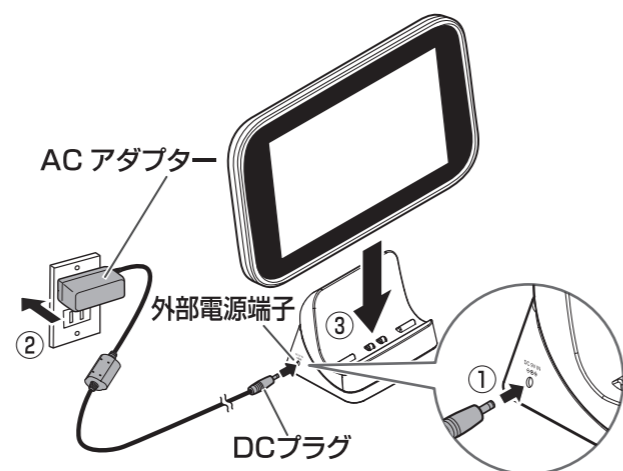
2 ACアダプターをコンセントに差し込む。

3 防水モニターを充電台の中央にのせる。

充電ランプが点灯し、充電が開始します。

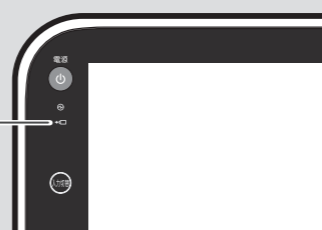
充電ランプが点灯しない場合は、防水モニターがきちんと中央にのせられているかどうか確認してください。

4 充電ランプが消灯する。
充電完了です。



充電ランプの表示について

- 充電ランプ
- ・赤点灯: 充電中
 - ・消灯: 充電完了

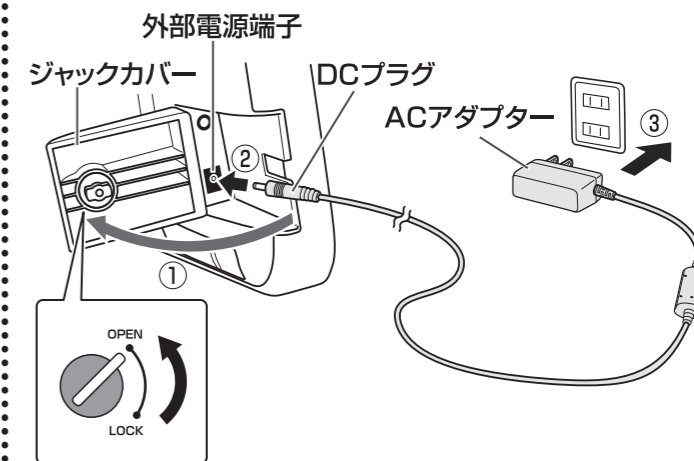


ACアダプターのみで使用する

1 防水モニター背面のジャックカバーを開ける。
!つまみを「OPEN」側に回し、ジャックカバーを開けます。

2 付属のACアダプターのDCプラグを外部電源端子に差し込む。

3 ACアダプターをコンセントに差し込む。



△注意

- 付属のACアダプター以外は絶対に使用しないでください。故障の原因になります。
- 付属のACアダプターは防水構造ではありません。浴室、台所などの水まわりでは使用できません。ACアダプターが濡れると感電や漏電、故障の危険があります。
- ジャックカバーが開いた状態では防水性能を保てません。浴室、台所などの水まわりでお使いの場合は、充電したあとジャックカバーを閉めてご使用ください。

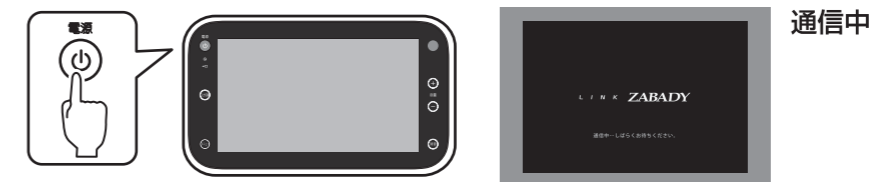
正しく操作できるか確認する

防水モニターに映像機器の映像が映るか確認する

① 送信機の電源を入れてから、映像機器の電源を入れます。



② 防水モニターの電源を入れます。



防水モニターの電源を入れると、送信機と通信を開始します。防水モニターには「通信中」という画面が表示されます。

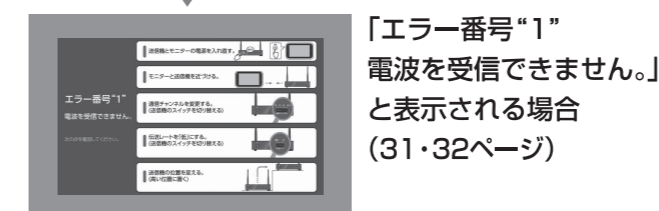
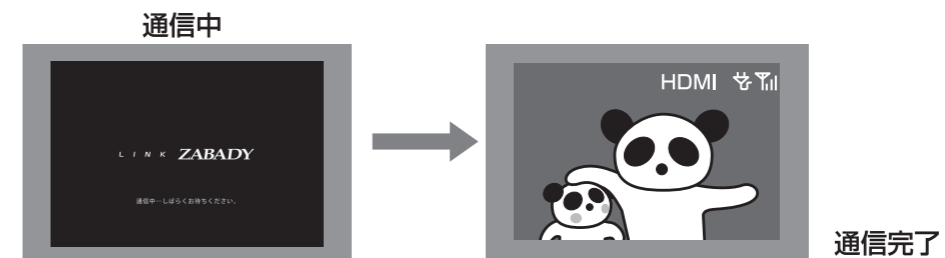
電源ボタンを押したあと、通信を開始するまでにしばらく時間がかかることがあります。

入力切替ボタンで映像機器を選択します

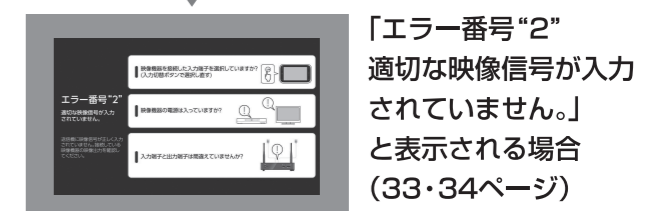
映像機器を HDMI ケーブルで接続したときは「HDMI」に、AV ケーブルで接続したときは「AV」に入力を切り替えてください。



③ 防水モニターに映像機器の映像が映るか確認します。



「エラー番号“1”
電波を受信できません。」
と表示される場合
(31・32ページ)



「エラー番号“2”
適切な映像信号が入力
されていません。」
と表示される場合
(33・34ページ)

…… 充電について ……

- 連続使用時間は、満充電の状態です約5時間です。また、充電時間は最大6時間です。ただし、バッテリーパックの使用状態によって異なります。
- バッテリーパックは長時間(2週間程度)充電しないと自己放電により使用時間が短くなります。お使いになる前に、再度充電してからお使いになることをおすすめします。
- 満充電に近い状態にあるときは、充電しても充電ランプが点灯しないことがあります。
- 内蔵のバッテリーパックは、充放電を繰り返すと、容量が低下します。
- 周囲の温度が5 ~ 35℃の環境で充電してください。本体の温度が低いときや高いときは、充電が開始されない場合があります。この場合は、本体を室温しばらく置いてから充電を行ってください。
- バッテリーパック残量がなくなると、自動的に電源が切れます。その場合は充電してください。
- ACアダプターを接続して動作しているときは、バッテリーパックは消費しません。また、動作中でも充電します。
- バッテリーパック残量が、視聴画面右上に電池アイコンで表示されます。



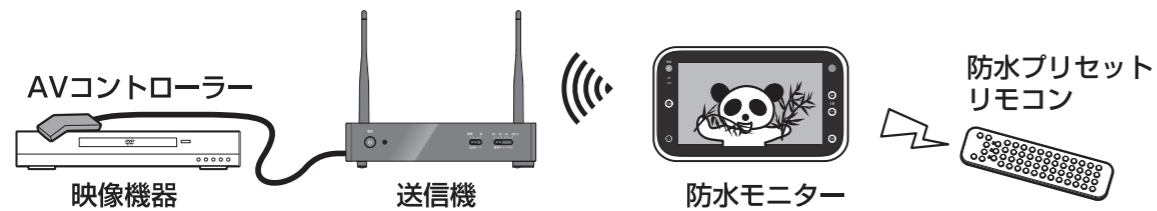
△ 注意

- お買上げ後、初めてご使用になるときや長期間ご使用にならなかったときは必ず充電ランプが消灯するまで充電を行ってください。

使いかた

防水プリセットリモコンで映像機器を操作できるか確認する

防水プリセットリモコンを防水モニターに向けてボタン操作し、映像機器が正しく操作できるかどうか確認してください。



映像機器を操作できない場合は、AVコントローラーの発光部の向きや位置を調整してください。

以上で接続と設定は完了です

接続・設定

正しく操作できるか確認する

注意

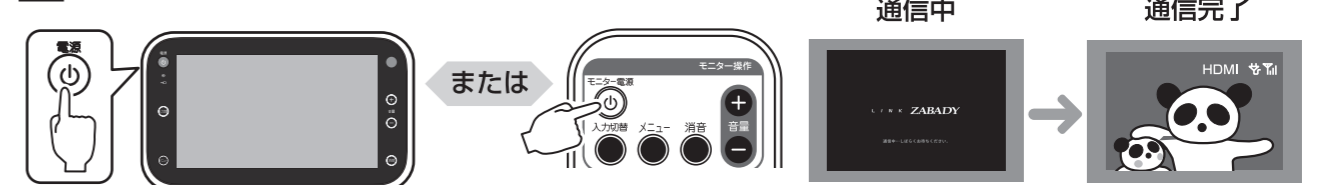
映像機器のHDMI出力設定が、本製品で対応していない解像度や音声フォーマットに設定されている場合、防水モニターに映像が正しく表示されなかったり、音声再生できなかったりすることがあります。この場合は、映像機器のHDMI映像出力やHDMI音声出力の設定を「自動」にする、または本製品で対応している解像度(最大720p)や音声フォーマット(リニアPCM)に変更してください。(詳しくは映像機器の取扱説明書をご覧ください。)

基本的な使いかた

1 送信機の電源を入れてから、映像機器の電源を入れます



2 防水モニターの電源を入れます



防水モニターの電源を入れると、送信機と通信を開始します。防水モニターには通信中画面が表示されたあと、映像が映ります。

電源ボタンを押したあと、通信を開始するまでにしばらく時間がかかることがあります。

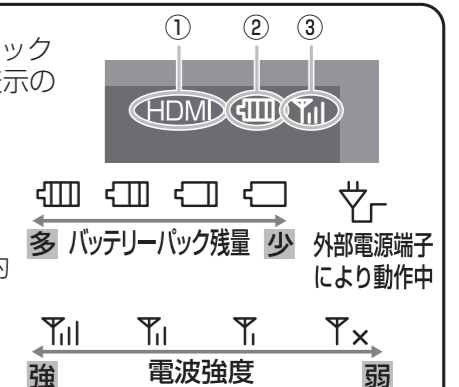
3 入力切替ボタンで視聴したい映像機器を選択します



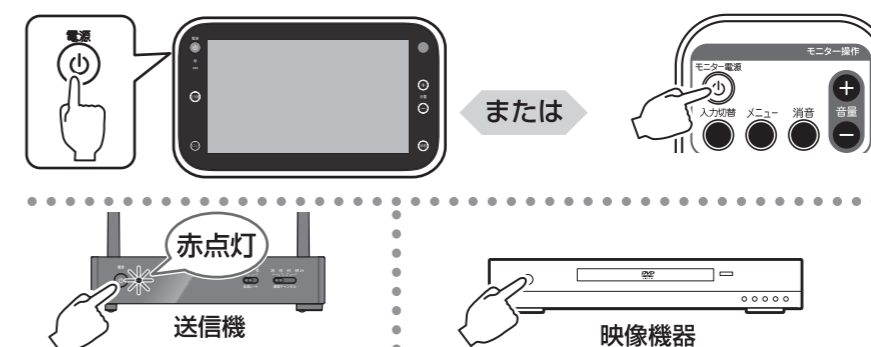
表示されるインジケータについて

送信機と防水モニターが通信していると、画面右上にバッテリーパック残量や通信状態を示すインジケータが表示されます。設定が非表示の場合、数秒後に消えます。

- ① 現在画面に表示されている映像機器を表しています。入力切り替えによってHDMIとAVが切り替えられます。
- ② 防水モニターのバッテリーパック残量を表します。バッテリーパック残量が少ない状態で動作を続けると、防水モニターの電源が自動的に切れます。充電を行うか、外部電源により動作させてください。
- ③ 受信している電波強度を表します。電波強度が強いほど、映像に途切れやノイズが少なくなります。



4 見終わったら、防水モニターの電源を切ってから、送信機と映像機器の電源を切ります



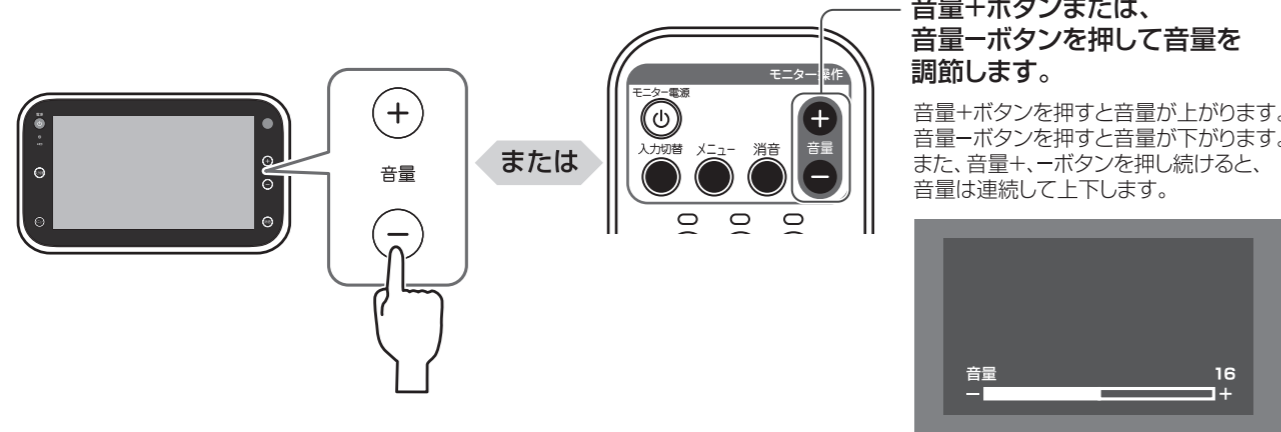
使いかた

使いかた

各種操作・設定のしかた

音量を調節する

防水モニターの音量を調節します。



音量を消音にする

防水モニターのを消します。



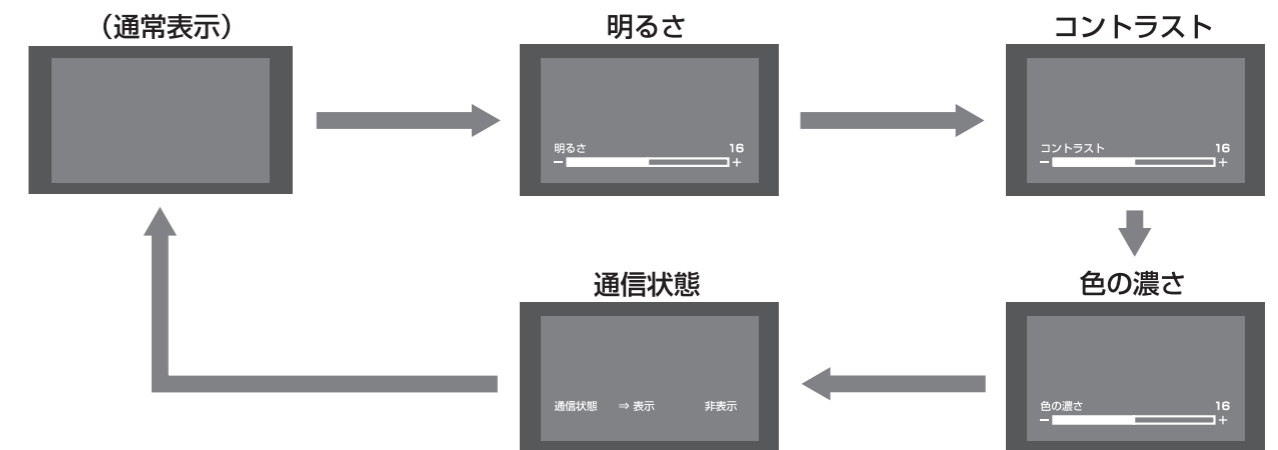
画質を調節する／通信状態表示を切り替える

モニター操作部のメニューボタンを押すと、防水モニターの画質の調節、および通信状態表示の切り替えを行うことができます。



1 メニューボタンを押します

メニューボタンを押すたびに、以下のように画面が切り替わります。



2 調節する画質(または通信状態表示を切り替える画面)を表示して、音量+、音量-ボタンで調節(切り替え)します

各画面で調節(切り替え)できる機能を以下に示します。

明るさの調節

映像の明るさを33段階で調節します。
音量+ボタンを押すと画面が明るくなります。音量-ボタンを押すと画面が暗くなります。

コントラストの調節

映像のコントラスト(濃淡)を33段階で調節します。
音量+ボタンを押すとコントラストが強くなります。音量-ボタンを押すとコントラストが弱くなります。

色の濃さの調節

映像の色の濃さを33段階で調節します。
音量+ボタンを押すと濃い色になります。音量-ボタンを押すと薄い色になります。

通信状態の表示切り替え

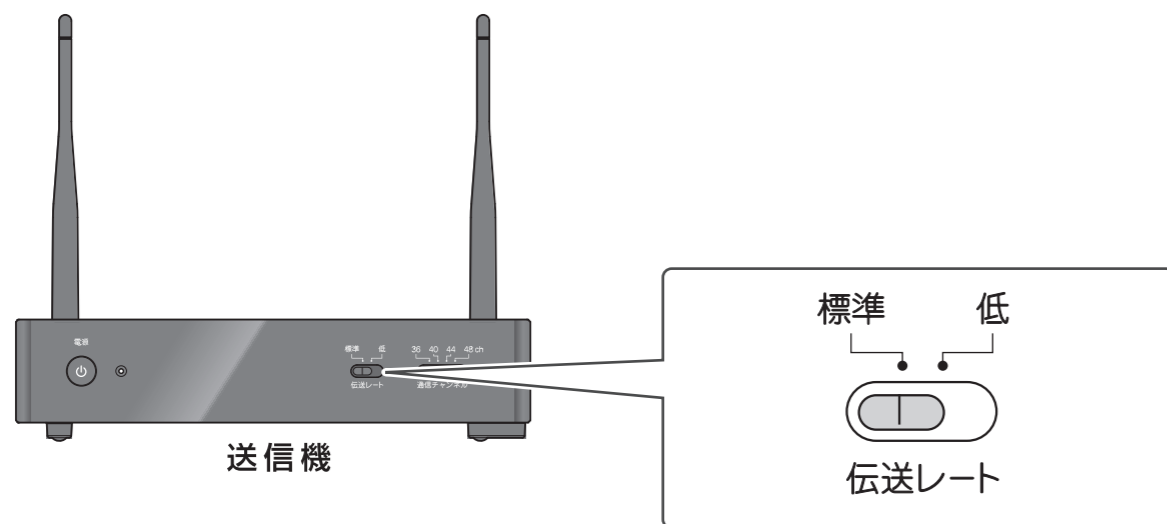
画面右上の表示される通信状態(電波の強さ、選択している映像機器)の表示/非表示を切り替えます。
音量+ボタン、または音量-ボタンを押すたびに表示/非表示で切り替わります。
※非表示にすると、入力切替などの操作をしたときに、数秒間だけ通信状態が表示されます。

伝送レートを切り替える

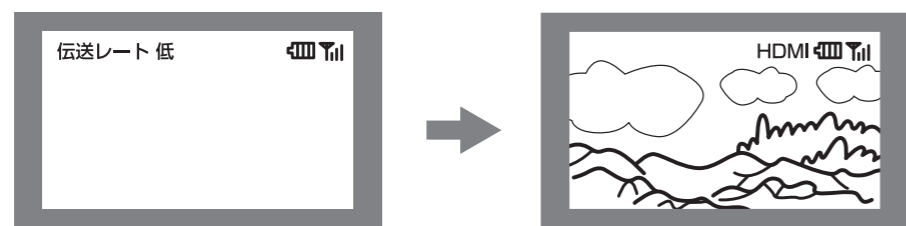
通信が不安定なとき、伝送レート切替スイッチを「標準」から「低」に切り替えることで、通信が安定する場合があります。

ただし、伝送レート切替スイッチを「低」に切り替えると、送信機から防水モニターに送る情報量が少なくなるため、画質が低下します。

1 伝送レート切替スイッチで伝送レートを切り替えます



2 伝送レートを切り替えると、切り替え後の伝送レートが画面に表示されます



使いかた

使いかた

⚠ 注意

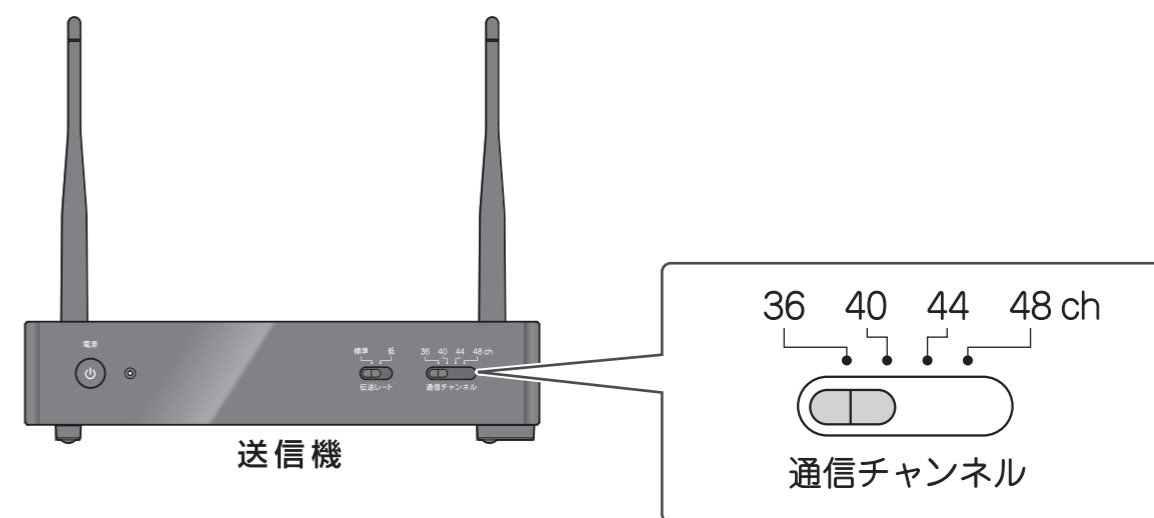
伝送レートの切り替えによって、通信が著しく安定することはありません。

通信チャンネルを切り替える

通信状態が良くないとき、または電波を受信できないときに、送信機と防水モニターが使用している通信チャンネルを変更することで改善される場合があります。

通信チャンネルの変更で改善されない場合、31・32ページをご覧ください。

1 通信チャンネル切替スイッチで、36・40・44・48chのいずれかに通信チャンネルを変更します



2 切り替え後のチャンネルが画面に表示され、再び送信機と通信を開始します

- 通信チャンネル切替スイッチは、1つずつ切り替えてください。
- 通信チャンネルを変更しても通信状態が改善されない場合、更に他のチャンネルに変更してください。



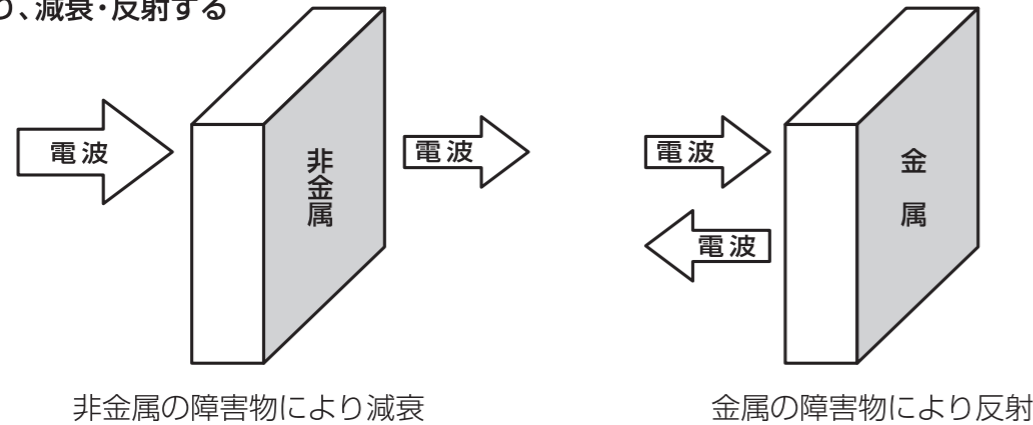
使いかた

使いかた

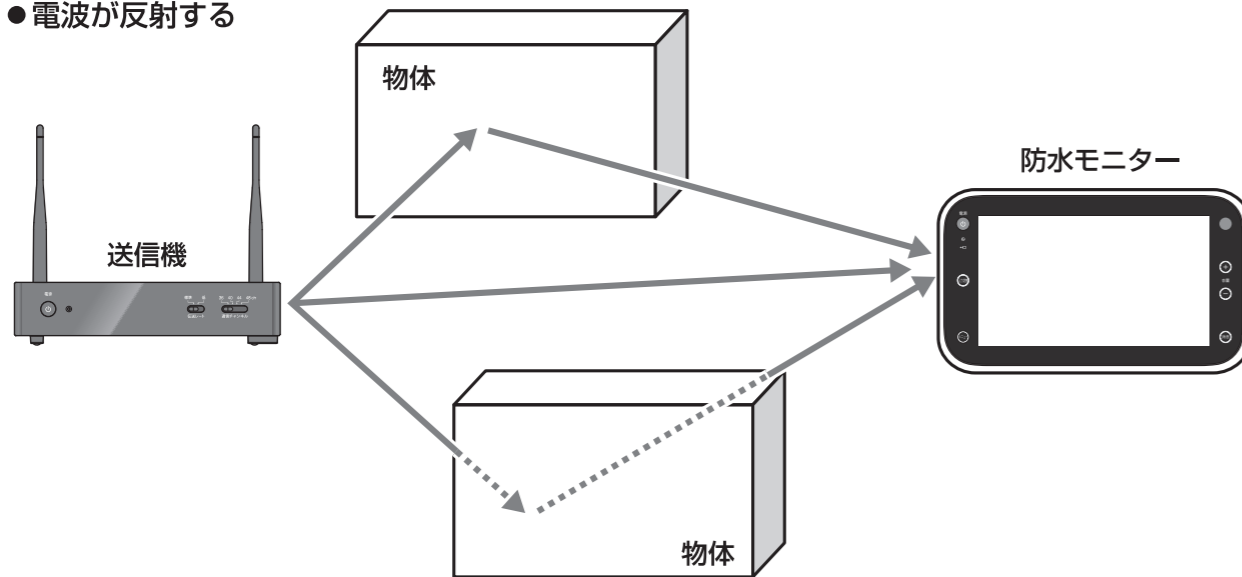
「エラー番号“1” 電波を受信できません」と表示される場合

本製品に使用している周波数帯の電波は下記の性質を持っています。

●障害物により、減衰・反射する



●電波が反射する



電波は物体に当たると反射をするため、様々な方向・状態（電波の強度や到達時間の差）の電波が届きます。

これらの性質が原因で建物内には必ず電波状態の良い場所と悪い場所ができます。電波を受信できないときは、次の点を確認してください。

① 送信機と防水モニターの電源を入れ直す

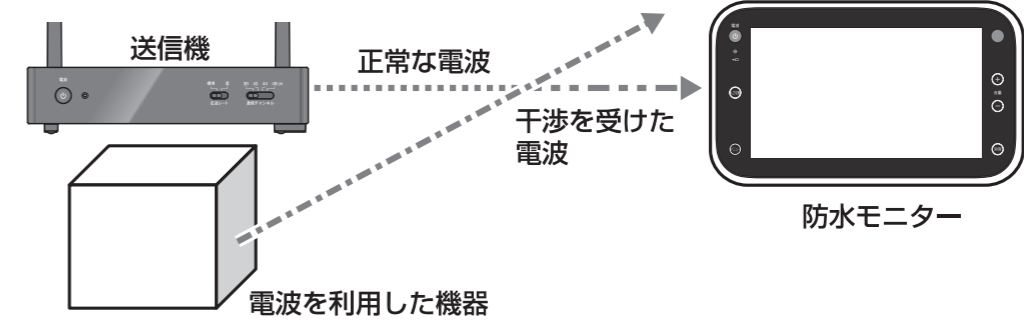
- 送信機の電源が切れている場合、電源ボタンを押して電源を入れてください。また、送信機と防水モニターの電源を入れ直すことで改善される場合があります。

② 防水モニターと送信機を近づける。

- 防水モニターと送信機の間壁や電化製品、スチールラックなどの障害物があると、電波は届かなくなります。

③ 通信チャンネルを変更する。

- 本製品の近くで同じ周波数帯の電波（無線LANなど）を利用している機器により干渉を受けている可能性があります。

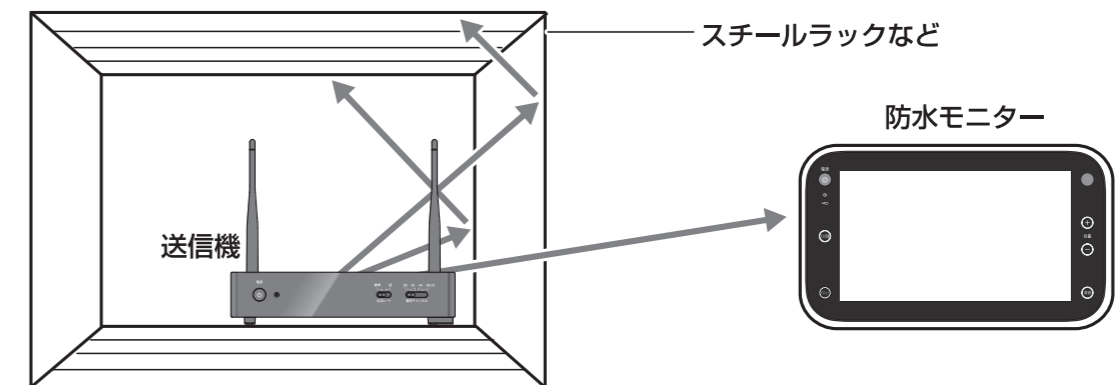


- 無線LANをご使用の場合、本製品またはお使いの無線LANの通信チャンネルを変更することで、お互いの干渉が減ります。お使いの無線LANの通信チャンネルを確認・変更する方法は、無線LANの取扱説明書をご覧ください。本製品の通信チャンネルを変更する方法は、30ページをご覧ください。

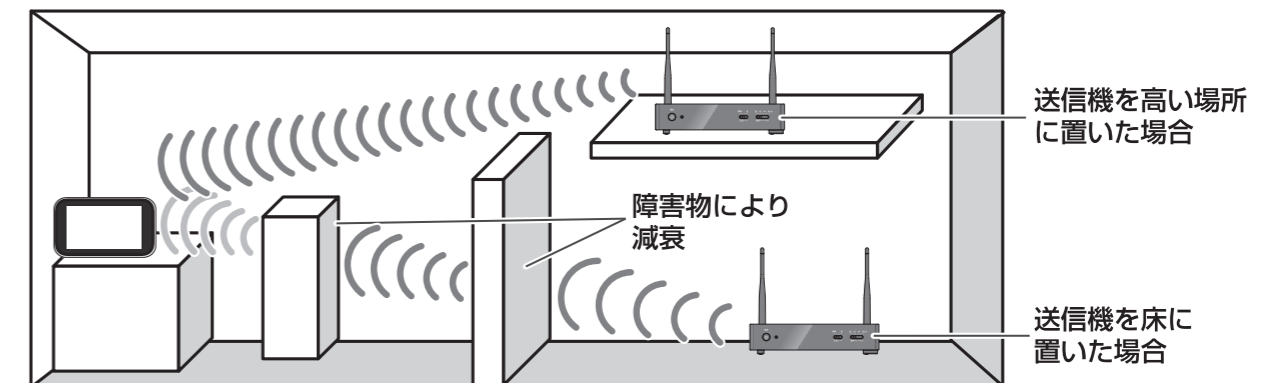
④ 伝送レートを「低」にする。

- 防水モニターと送信機の間壁や電化製品、スチールラックなどの障害物があると、電波は届かなくなることがあります。

⑤ 送信機の場所を変える。



- 防水モニターや送信機が金属製のもの（スチールラックなど）で囲まれていると、反射により電波が届きにくくなります。



- 送信機を高い場所に置くことで、電波が届きやすくなる場合があります。また、送信機と防水モニターの間の障害物を少なくしたり、人が頻繁に通らない場所に設置することで改善される場合もあります。

「エラー番号“2” 適切な映像信号が入力されていません」と表示される場合

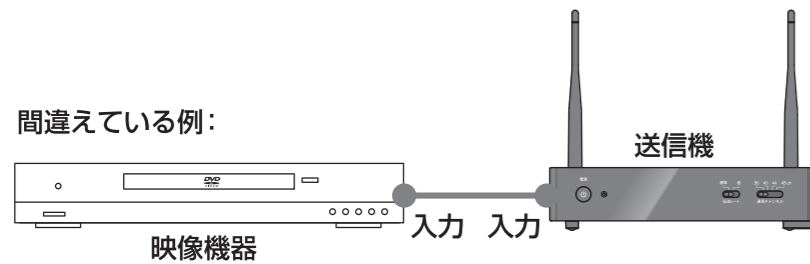
① 映像機器を接続した入力端子を選択していますか？

- 映像機器をHDMI端子またはAV端子のどちらに接続したか確認してください。それに合わせ、入力切替ボタンでHDMIまたはAVを選択します。

② 映像機器の電源が入っていますか？

- 接続している映像機器の電源が入っていないと通信できません。映像機器の電源を入れて、防水モニターと送信機の電源を入れ直してください。

③ 入力端子と出力端子は間違えていませんか？



- 接続している映像機器と送信機の端子をご確認ください。入力同士または出力同士が接続されていたり、入力と出力が逆に接続されていると、映像は表示されません。17～19ページをご覧ください。

④ 端子とケーブルの接続にゆるみやはずれがありませんか？

接続にゆるみやはずれがあると、映像が途切れたり、表示されなくなります。ゆるみやはずれがある場合は、きちんと接続してご使用ください。

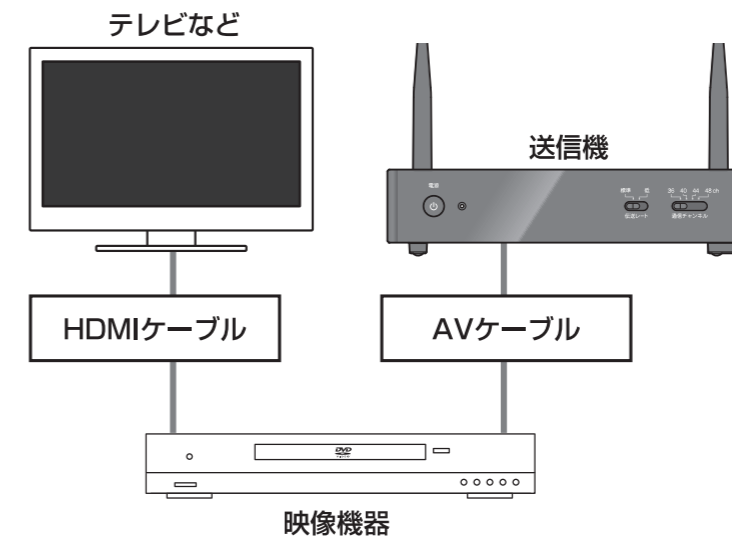
⑤ テレビの出力端子と送信機の入力端子を接続していませんか？



テレビの録画予約用出力端子と送信機の入力端子を接続した場合、テレビを録画状態にしてください。防水モニターに映像が表示されない場合があります。お使いのテレビの設定を変更することで、防水モニターで映像が見られる場合があります。設定について、詳しくはお使いの映像機器の取扱説明書をご覧ください。

⑥ 映像機器とテレビなどの接続にハイビジョン映像用端子を使用していませんか？

(送信機と映像機器をAVケーブルで接続している場合)

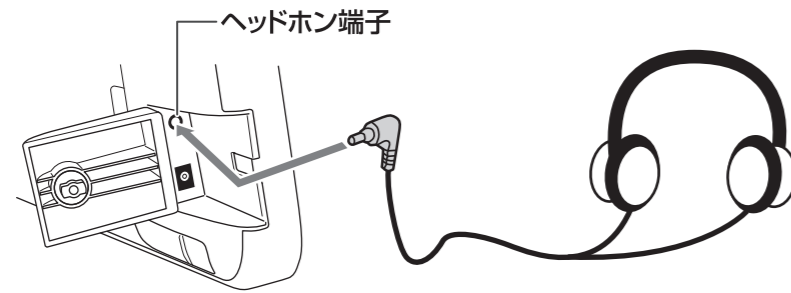


映像機器とテレビなどをハイビジョン映像用端子(HDMI端子など)で接続している場合、映像機器から送信機に対して、正常な信号を出力できなくなることがあります。テレビなどとの同時使用を避けるか、テレビなどとの接続に標準画質用端子(AV端子、S映像端子、D端子)を用いることで改善される場合があります。詳しくはお使いの映像機器の取扱説明書をご覧ください。

防水モニターと外部の機器を接続する

ヘッドホンをつなぐ

市販のヘッドホンヘッドホン端子に接続すると、スピーカーから音を出さずに再生できます。



△ 注意

- 大きな音量で長時間お聞きになると、聴力に悪影響が出る場合がありますのでご注意ください。
- 外部の機器を接続した場合、ジャックカバーが開いた状態になるため防水にはなりません。

中継機の使用について

本製品ではIEEE802.11n準拠のWPS機能付き無線LAN中継機(推奨:I-O DATA製 WN-AG300EX)を使用して、送信機から防水モニターまでの通信範囲を拡大することが可能です。

- 1** 無線LAN中継機を送信機と防水モニターのそばに置いてください。
- 2** 送信機と防水モニターにACアダプターを接続し、中継機に電源を接続してください。
- 3** 送信機と防水モニターの電源を入れてください。
通信が接続されていることを確認してください。
- 4** 防水モニターの電源ボタンを長押しします。(約7秒)
防水モニターの電源ランプが点滅し、中継機との接続が可能になります。
- 5** 中継機の周波数を5GHz帯に合わせ、WPS機能を「ON」にしてください。
(詳しくは中継機の取扱説明書をご覧ください。)

防水モニターと中継機の接続が成功すると、防水モニターの電源ランプが点滅から点灯に変わります。

これで中継機との接続は完了です。

うまく中継機と接続ができない場合は、一度各機器の電源を切り、もう一度最初からやりなおしてください。

防水モニターを使用する場所と送信機を設置している場所の間に中継機を設置し直します。

防水モニターを移動し、通信が接続されていることを確認してください。
中継機の設定をしても、中継機を使用せずに防水モニターと送信機のみで通信することができます。

本製品と中継機を接続した際の問題については、当社の「お客様サービス係」までご相談ください。

△ 注意

- 中継機を使用した場合でも、防水モニターの電波強度の表示は、送信機からの電波の強度を表します。その場合、中継機からの電波の強度と防水モニターの電波強度の表示は一致しません。

その他

バッテリーパックの交換とリサイクルについて

- 防水モニターに内蔵されているバッテリーパックは、充放電を繰り返すと、容量が低下します。充放電可能な回数は周囲温度や使用時間などで変わります。
 - 充電しても使用時間が短かったり、電源が入らないときは、バッテリーパックの寿命です。新しいバッテリーパックをお買い求めください。
 - 製品の廃棄時に取り出した使用済みバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店にお持ちになり、リサイクルへご協力ください。バッテリーパックに使用しているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。
- バッテリーパックの購入については「お客様サービス係」までご相談ください。
バッテリーパックは消耗品ですので、保証期間内でも無料修理の適用外となります。

製造番号	製品名	価格(送料別)
VW-BA40LP	バッテリーパック(1個)	5,775円(本体価格5,500円)

(2013年11月現在の価格です。変更することもあります。)
消費税法の改正により、消費税相当額を含んだ支払総額で価格を表示しています。
消費税は平成16年4月現在の税率に基づいて計算されています。

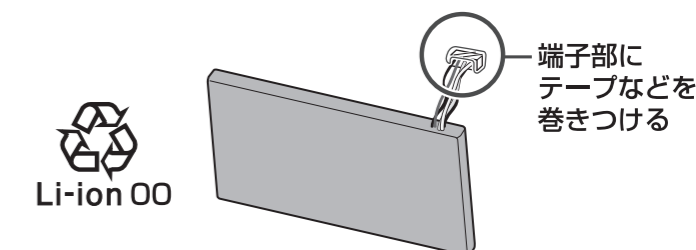
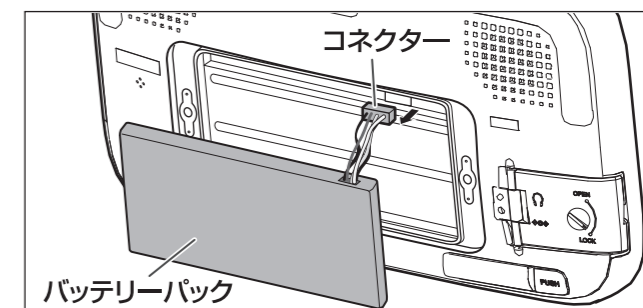
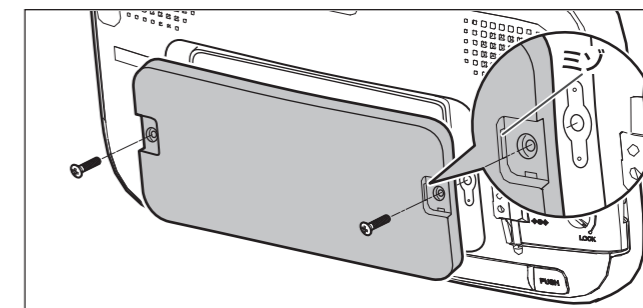
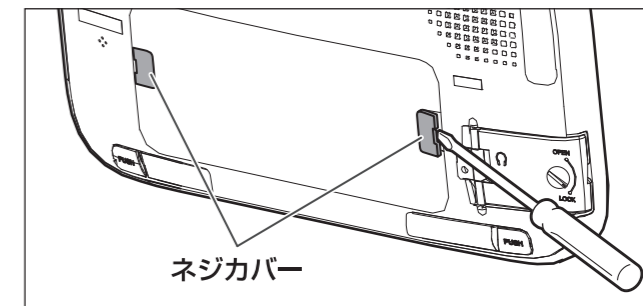
〒959-0292 新潟県燕市吉田西太田2084-2
ツインバード工業(株)「お客様サービス係」

注意

- バッテリーカバーを開く際は、必ず防水モニターの水気を取り除き、乾いた手で行ってください。
- 防水モニターがバッテリーパックで動作しなくなった(放電した)ことを確認してバッテリーパックを取りはずしてください。
- バッテリーパックを交換する、または防水モニターを廃棄するとき以外はバッテリーカバーを開けないでください。

バッテリーパックの取りはずしかた

- 1 防水モニターにACアダプターおよびヘッドホンが接続されていたら、取りはずします。
- 2 スタンドが出ていたら、たたみます。
- 3 バッテリーカバーの左右のネジカバー(2カ所)を取りはずします。
 - マイナスドライバーなどの先端をネジカバーのミゾに差し込み、ネジカバーを持ち上げるようにしてはずします。
 - ネジカバーは左右で形状が異なります。
- 4 プラスドライバーでバッテリーカバーのネジを取りはずします。
- 5 バッテリーカバーを取りはずします。
 - マイナスドライバーなどの先端をバッテリーカバーの右側(1)のミゾに差し込み、バッテリーカバーを持ち上げるようにしてはずします。
- 6 防水モニターとバッテリーパックをつなぐコネクターを取りはずします。
- 7 ゆっくりとバッテリーパックを取り出します。
- 8 取り出したバッテリーパック(リチウムイオン充電電池)はリサイクル協力店へお持ちください。

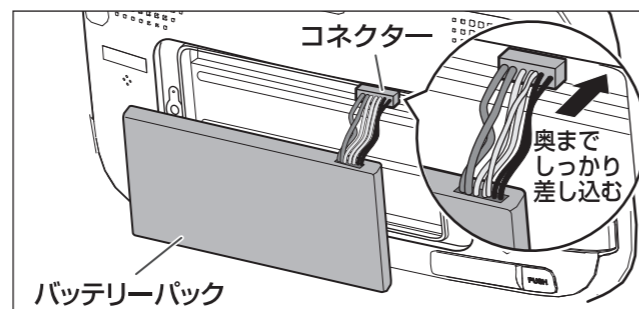


Li-ion 00

バッテリーパックの取付けかた

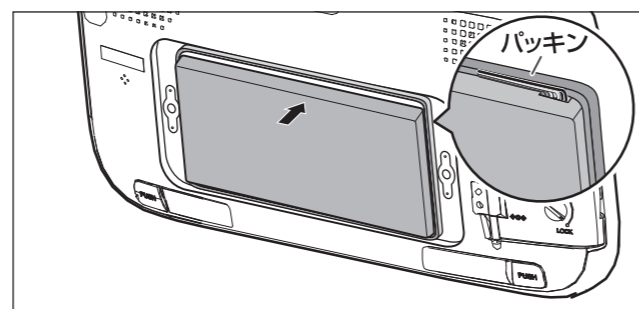
1 新しいバッテリーパックの コネクターを基板に取付けます。

- コネクターは、右側に黒、左側に赤のケーブルがくるように向きを合わせます。



2 バッテリーパックをバッテリー パック収納部に入れます。

- パッキンがはずれかかっていたら、取付けてください。
- コネクターのケーブルはバッテリーパック収納部の上面とバッテリーパックとの隙間に収めてください。

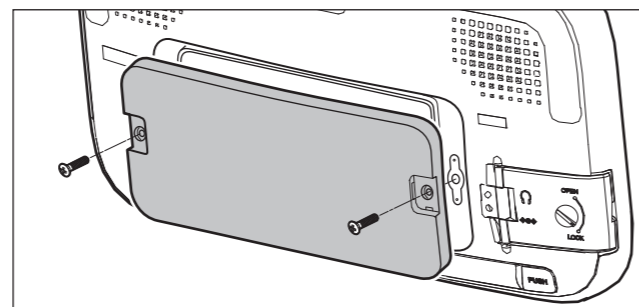


3 バッテリーカバーを取付けます。

- バッテリーカバーの四辺を防水モニターに押し込んでください。

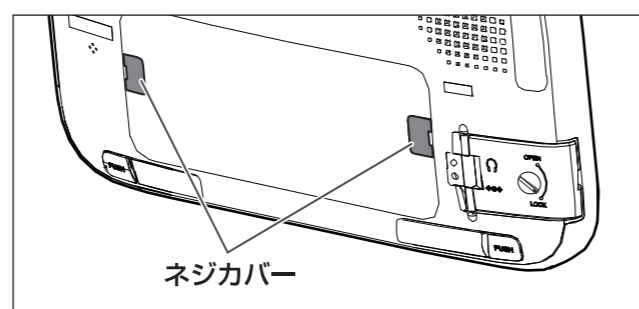
4 プラスドライバーでバッテリー カバーのネジを確実に締めます。

- コネクターのケーブルをバッテリーカバーで挟み込まないように注意してください。



5 左右のネジカバー(2カ所)を 取付けます。

- ネジカバーは厚みが薄いものを右側、厚いものを左側にしてください。



▲注意

バッテリーカバーが浮き上がらないように、しっかりと取り付けてください。すきまが生じていると、防水性が損なわれ、火災・感電・故障の原因になります。

こんなときは(困ったときにお読みください)

ご使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前にまず次の点をお調べください。また、接続している映像機器などの取扱説明書もよくお読みください。

映像

こんなときは	ここをご確認ください	処置方法	参考ページ
「エラー番号“2” 適切な映像信号が 入力されていません。」 と表示される	映像機器の電源は入っていますか？	映像機器の電源を入れてください。	33 34
	映像機器を接続した入力端子を選択していますか？	入力切替ボタンで映像機器を接続した入力端子を選択してください。	
	入力端子と出力端子は間違えていませんか？	映像機器、送信機の端子を確認してください。	
	映像端子は接続されていますか？	映像端子*1を接続してください。	
	映像機器と送信機の接続に間違いはありませんか？	映像機器と送信機の接続をご確認ください。	
「エラー番号“1” 電波を受信できま せん。」 と表示される	送信機の電源は入っていますか？	送信機の電源を入れてください。	31 32
	防水モニターと送信機を近づけてください。	防水モニターと送信機の間壁や電化製品、スチールラックなどの障害物があると、電波は届かなくなることがあります。また、伝送レートを「標準」から「低」に変更することで改善される場合があります。	
	近くで無線LANなどの機器を使用していませんか？	本製品の通信チャンネルを変更してください。また、無線LANをチャンネル変更したり、無線LAN機器の電源を切ることで改善することがあります。	
	防水モニターと送信機、中継機の電源を入れなおしてください。	静電気や電波などの影響を受けると、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。	
	送信機と防水モニター、中継機の間障害物を取り除いて見通しをよくしてください。		

映像

こんなときは	ここをご確認ください	処置方法	参考ページ
映像が乱れる ブロック状の ノイズが出る ときどき止まる	送信機と防水モニター、中継機を近づけてください。	送信機と防水モニターの間に壁や電化製品、スチールラックなどの障害物があると、電波が届きにくくなる場合があります。	29 31
	伝送レートが「標準」になっていますか？	伝送レートを「標準」から「低」に変更することで改善される場合があります。	30
	近くで無線LANなどの機器を使用していますか？	本製品の通信チャンネルを変更してください。また、無線LANをチャンネル変更したり、無線LAN機器の電源を切ることで改善される場合があります。	30 32
画面に何も映らない	防水モニターの電源ランプは点灯していますか？	電源を入れなおしてください。電源を入れなおしてもすぐに消えるときは、充電ランプが消えるまで充電を行ってから電源を入れてください。	21 22 23

*1：映像端子は本製品の場合AV端子(黄)、HDMI端子を指します。

電源

こんなときは	ここをご確認ください	処置方法	参考ページ
充電ができない 充電ランプが 点灯しない	防水モニターの充電端子と充電台の充電端子は接触していますか？	防水モニターのスタンドの角度によっては、充電端子が接触しない場合があります。防水モニターの角度を調節してください。	11 21
	すでに満充電になっていませんか？	そのままお使いください。	
	同じバッテリーパックを長く使用していませんか？	バッテリーパックの寿命が考えられます。「お客様サービス係」にご相談ください。	37
防水モニターの電源が入らない	バッテリーパックは充電されていますか？	バッテリーパックを充電してから動作させるか、ACアダプターを接続した状態で防水モニターを動作させてください。	21 22 23
電源を入れても すぐに切れる 動作中に電源が切れる	バッテリーパックは充電されていますか？	バッテリーパックを充電してください。改善されないときは、バッテリーパックの寿命が考えられます。「お客様サービス係」にご相談ください。	21 22 23 27
	同じバッテリーパックを長く使用していませんか？		

こんなときは (困ったときにお読みください)

その他

防水プリセットリモコン

こんなときは	ここをご確認ください	処置方法	参考ページ
防水プリセット リモコンで 操作できない 防水プリセット リモコンの 効きが悪い	防水プリセットリモコンの赤外線発光部を防水モニター受光部に向けて操作していますか？	防水モニター受光部に向けて操作してください。	14
	防水モニターから遠いところで防水プリセットリモコン操作をしていませんか？	防水モニターから3mの範囲内で操作を行ってください。	14
	防水プリセットリモコンと本体の間に障害物はありませんか？	障害物を取り除いてください。	14
	防水モニターのリモコン受光部に、直射日光や照明器具の強い光が当たっていませんか？	防水モニターの向きを変えるなどして、リモコン受光部に強い光が当たらないようにしてください。	14
	防水プリセットリモコンの電池が消耗していませんか？	新しい電池に交換してください。	14
	防水プリセットリモコンの電池が正しい方向にセットされていますか？	電池の⊕⊖の表示をご確認の上、正しくセットし直してください。	14
AVコントローラーを接続した状態で防水モニターに向けて防水プリセットリモコンを操作しても映像機器を操作できない	AVコントローラーの発光部は映像機器のリモコン受光部を向いていますか？	AVコントローラーの発光部を映像機器のリモコン受光部に向けて操作してください。映像機器のリモコン受光部の場所は、映像機器の取扱説明書を参照してください。	20
	送信機と防水モニターの通信は完了していますか？	送信機と防水モニターの通信が完了(画面右上にインジケータが表示)してからリモコン操作を行ってください。	26

防水プリセットリモコン取扱説明書(別冊)の「こんなときは(困ったときにお読みください)」も併せてご覧ください。

音声

こんなときは	ここをご確認ください	処置方法	参考ページ
音が出ない	音量が“0”または消音になっていませんか？	音量+ボタンで音量を調節してください。	27
	AVケーブル(赤・白)が映像機器と送信機に正しく接続されていますか？	送信機と映像機器のAV端子(赤・白)をAVケーブル(赤・白)で接続してください。	18
	防水モニターにヘッドホンが接続されていませんか？	防水モニターに接続されてるヘッドホンをはずしてください。	35
	接続されている映像機器に映像端子*1はありますか？	CDプレーヤーやラジオなど、音声のみの機器の場合、映像・音声は出力されません。必ず映像端子のある機器の映像端子と送信機の映像端子を接続して使用してください。	16
音声が悪い 雑音が入る 途切れやすい	防水モニターが送信機から遠すぎませんか？	防水モニターと送信機を近づけてください。	12
	送信機と防水モニターの間によくの遮蔽物はありませんか？	送信機と防水モニターの間障害物を取り除いてください。また、伝送レートを「標準」から「低」に変更することで改善される場合もあります。	30 31 32
	近くで無線LANなどの電波を使った機器を使用していませんか？	無線LANまたは本製品の通信チャンネルを変更してください。	30

*1：映像端子は本製品の場合AV端子(黄)、HDMI端子を指します。

こんなときは (困ったときにお読みください)

その他

HDMI出力

こんなときは	ここをご確認ください	処置方法	参考ページ
HDMI入力端子に接続した映像機器をHDMI出力端子に接続した機器で再生できない	ACアダプターは送信機とコンセントに接続されていますか？	ACアダプターを正しく接続してください。	19

AV出力

こんなときは	ここをご確認ください	処置方法	参考ページ
AV入力端子に接続した映像機器をAV出力端子に接続した機器で再生できない	ACアダプターは送信機とコンセントに接続されていますか？	ACアダプターを正しく接続してください。	19
	AV入力端子に接続されている映像ケーブル*2とAV出力に接続されている映像ケーブルは一致していますか？	AV入力端子とAV出力端子に接続する映像ケーブルを同じ種類のものにしてください。	18

*2: 映像ケーブルは本製品の場合AVケーブル(黄)を指します。

その他のトラブル

こんなときは	ここをご確認ください	処置方法	参考ページ
スピーカーの音が小さい	スピーカー部分に水滴がついていませんか？	タオル等で水滴を取り除いてください。	
ヘッドホンから音が出ない 音声が途切れる 異音がる	ヘッドホンのプラグがヘッドホン端子にしっかり接続されていますか？	ヘッドホンのプラグをヘッドホン端子に正しく接続してください。	35
送信機や防水モニターが正常に動作しない	静電気などにより誤動作をしていることが考えられます。	電源を入れなおしてください。	

こんなときは (困ったときにお読みください)

その他

お手入れ

お手入れは、必ず電源を「切」にしコンセントを抜いてから行なってください。

- 本体の汚れは、乾いたやわらかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤少量をやわらかい布に浸して、よくしぼってふき、そのあと乾いた布でふきとるときれいになります。
- シンナー・ベンジン・スプレー式クリーナー類では絶対にふかないでください。
- ジャックカバーの内部に水が入ったときは、ただちに「お客様サービス係」にご相談ください。

製品を廃棄するとき



本製品を廃棄する場合はバッテリーパックを取りはずし、地方自治体の指示(条例)に従ってください。取りはずした使用済みバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店にお持ちになり、リサイクルにご協力ください。バッテリーパックに使用しているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。

アフターサービス

1.保証書

- 裏表紙に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日」と「販売店名」の記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 保証書をよくお読みになり大切に保管してください。

2.保証期間

お買い上げ日から1年間です。
(ただし、バッテリーパックは除く。)
なお、保証期間中でも有料修理になることがありますので保証書をよくお読みください。

3.修理を依頼される時

取扱説明書の内容をお確かめいただき、なお異常があるときは電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店または「お客様サービス係」に修理をご相談ください。

- **保証期間中の修理**
保証書の規定により無料修理します。製品に保証書を添えてお買い上げの販売店または「お客様サービス係」までお申し出ください。
- **保証期間がすぎている修理**
修理により使用できる製品は、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。お買い上げの販売店または「お客様サービス係」にご相談ください。

4.補修用性能部品の最低保有期間

- この防水ワイヤレスモニターの補修用性能部品の保有期間は製造打切後8年です。
- 性能部品とはその製品の機能を保持するために必要な部品です。

5.アフターサービスについてご不明の場合

お買い上げの販売店または「お客様サービス係」にお問い合わせください。お問い合わせの際は、**接続している映像機器のメーカーや型番、接続しているケーブルをお伝えください。**

〈修理料金のしくみ〉

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品の修理および部品交換などの作業にかかる料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

〈修理部品について〉

修理部品は、部品共有化のため、一部仕様や外観色などを変更する場合があります。

お客様サービス係

☎(フリーダイヤル) 0120-337-455
FAX (0256) 93-1077
お電話承り時間: 平日(月曜~金曜)午前9時~午後5時
〒959-0292 新潟県燕市吉田西太田2084-2

お客様ご自身の修理は大変危険です。分解したり手を加えたりしないでください。

お手入れ

その他

仕様

防水モニター

防水仕様	JIS IPX7相当*1
電源	ACアダプター(付属) VD-CH38 AC100V 50/60Hz 専用バッテリーパック(内蔵)リチウムイオン充電電池
消費電力(約)	通信時 6.5W バッテリーパック充電時 11.0W
製品質量(約)	1.3kg(バッテリーパックを含む)
製品寸法(約)	幅305×奥行36×高さ180mm 幅305×奥行99×高さ210mm(充電台使用时)
スピーカー	φ40mm×2
実用最大出力(約)	500mW+500mw
画面サイズ	10.1V型(横22.27×縦12.53cm)
駆動方式	TFTアクティブマトリックス起動方式
画素数	横1024×縦600 ※3
使用温度範囲	5℃~35℃
保存温度範囲	-10℃~50℃
連続使用时间(約)	5時間(新品のバッテリーパックで、満充電で使用 ※2)
充電時間	最大6時間
接続端子	ヘッドホン端子(φ3.5 ステレオミニジャック) 外部電源端子(DC9V JEITA統一規格 電圧区分3)

送信機 ●防水構造ではありません。

電源	ACアダプター(付属) VD-CH38 AC100V 50/60Hz	
消費電力(約)	6.9W	
製品質量(約)	450g	
製品寸法(約)	幅260×奥行160×高さ57mm	
接続入力端子	電源端子 DC9V JEITA統一規格 電圧区分3	
	HDMI入力端子 HDMI端子コネクタ	
	AV入力端子	映像端子 RCAピンジャック 黄
		音声端子(左) RCAピンジャック 白 音声端子(右) RCAピンジャック 赤
接続出力端子	HDMI出力端子 HDMI端子コネクタ	
	AV出力端子	映像端子 RCAピンジャック 黄
		音声端子(左) RCAピンジャック 白
		音声端子(右) RCAピンジャック 赤
AVコントローラー端子	φ3.5mmミニジャック×2	
使用温度範囲	5℃~35℃	
保存温度範囲	-10℃~50℃	

無線部

準拠規格	5.2,5.3GHz帯省電力データ通信システム
変調方式	OFDM
周波数範囲(中心周波数)	5.180GHz~5.240GHz (Ch 36,40,44,48)

充電台 ●防水構造ではありません。


電源	ACアダプター VD-CH38(付属) AC100V 50/60Hz
製品質量(約)	185g
製品寸法(約)	幅125×奥行99×高さ100mm

付属品

防水プリセットリモコン	防水仕様	JIS IPX7相当*1	
	電源	単4形乾電池 2本	
	ボタン	防水モニター操作ボタン 6個	
		機器選択ボタン 3個	
		学習可能ボタン 48個(最大144個の信号を記憶できます)	
	製品質量(約)	110g(電池含まず)	
	製品寸法(約)	幅50×厚さ22×高さ195mm	
動作温度範囲	5℃~35℃		
保存温度範囲	-10℃~50℃		
ACアダプター	定格入力	AC100V 50/60Hz	
	定格出力	DC9V 1.5A	
	コード長(約)	1.8m	

●AVコントローラー×2 ●両面テープ×2 ●HDMIケーブル ●リモコン用単4形 マンガン乾電池(お試し用)×2
●本体取扱説明書(保証書付) ●防水プリセットリモコン取扱説明書 ●かんたんガイド

- *1 定められた条件で水中に没しても内部に水が入らないもの。
- *2 使用時間は周囲温度20℃で連続動作させた場合の目安です。使用状況(音量、明るさ等)や周囲温度により変動します。バッテリーパックは使用と充電を繰り返すと使用時間が短くなります。
- *3 液晶パネルは非常に高度な技術で作られており、99.99%以上の有効画素数がありますが0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますのであらかじめご了承ください。
- この製品は、日本国内用に設計・販売されています。電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。海外での修理や製品販売などのアフターサービスも対象外となります。
- 仕様、外観などは改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfacelは、米国およびその他の国々におけるHDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。

	★長年ご使用の防水ワイヤレスモニターの点検を！	
	ご使用の際このようなことはありませんか。	●ACアダプターやプラグが異常に熱くなる。 ●コードを動かすと通電したりしなかったりする。 ●こげくさい臭いがする。 ●ACアダプターに深いキズや変形がある。 ●電池から液もれしている。 ●いつもより、電池が熱くなっている。 ●電池の端子部にさびが発生している。 ●映像や音声が出ないことがある。 ●内部に水や異物が入った。 ●その他の異常、故障がある。